

TDCG

東京歯科大学同窓会会報

212

1983年4月

東京歯科大学同窓会会報 第 212 号

目 次

巻頭言	1
お知らせ	2～3
本部短信	4
理事会のうごき	5
野口好之名誉教授の逝去を悼む	6
逝去会員	7
学 術	8～9
第11回ゴルフ大会	10～11
母校だより	12～18
新入会員オリエンテーション	19
第88回東京歯科大学卒業証書授与式	20～21
支部のうごき	22～23
クラス会だより	24～26
すいどうばし	27～30
へんしゅうこうき	31

(表紙・カット 菊池 豊)

同窓各位

同窓会会員名簿に先生の正確な記録を！

—新しい東京歯科大学同窓会会員名簿の編集に着手しました—

1日も早く正確なものを発行するために綴じ込みの「会員名簿資料」ハガキにご記入のうえ切手を貼らずにお出し下さい。

今すぐ正確にご記入のうえご投函下さい！

(5月末日必着のこと)

より一層充実したものとするために各支部長および各クラス会代表にも名簿の確認をお願いしてありますが、同窓各位におかれましても個人としての「会員名簿資料」を必ずご返送下さいますようお願いいたします。

なお、この個人資料をご返信下された会員の氏名のところには前回同様*印を付して、ご本人からの確認を得た標示といたします。

昭和58年4月

東京歯科大学同窓会 同窓会名簿編集委員会



千葉校舎の庭(3)

千葉の校舎には緑の学園という言葉にふさわしく多くの樹木が植えられているが、近代的な建物に調和したいくつかの美しい庭が造られている。

これらを順次紹介してゆく。



臨床管理棟と図書館の間の中庭

千葉の校舎は大まかに見て、2重のL字状の建物の中に図書館や厚生棟が配置されている。図書館や厚生棟は、臨床管理棟および基礎講義棟の双方から利用し易いような位置にある。臨床管理棟と図書館との間にもモザイク模様の敷石が見られるが、臨床管理棟側に植えられている河津桜や沈丁花の花はいち早く春の訪れを告げている。

〔グラビア撮影：松井恭平〕

巻頭言

東 歯 魂

副 会 長 山 脇 弘

今、歯科界は厳しい環境の中にたたさされている。昭和23年7月30日法律205号で成立した現在の医療法の改正も目前に迫っている時、血脇イズムの原点は何であったか考えてみたい。

日本の歯科医学並びに歯科関係法律を欧米先進国並みの水準に向上させたのは、高山紀斎先生と血脇守之助先生であった。その偉大な業績を偲ばずにはいられない。さらにもっと大切な事は、その説かれた建学の精神「歯科医師である前に人間であれ」である。

血脇守之助伝の一節に、次の様にしるされている。『大正11年8月血脇守之助校長は、多年同校に勤続し、功績のあった一使丁“熊さん”の死に際して盛大な校葬を行った。地位の上下にかかわらず、各自の職分に応じて奮励するもの皆平等の家族主義・東歯家族主義は、守之助が小林太郎の葬儀でなめた苦渋から生れ、血脇イズムを構成する太い柱となっていた。』此の心は、今も脈々として生きている。母校を愛するが為の論議は色々あって然り、57年11月の評議員会並に総会でしめされた良識ある同窓会の一枚岩の姿は、豊かでほのぼのとした暖かさを感じずにはいられなかった。頭の下がる思いで一杯であった。そこに過去・現在・未来と、永遠に生き続ける東歯魂を見た。

お知らせ

○ TDC 卒後研修セミナー '83プログラム

総合的な視点にたった歯科診療

加齢への対応〔Ⅳ〕 加齢に対応した歯科診療の実際

◇ 第4回〔昭和58年5月21日(土)〕

9:30~12:00	総義歯症例の試行錯誤	溝上隆男(東歯大・補綴)
13:00~16:30	私どもの臨床のあゆみから	北川原健(長野県・開業)
		谷口威夫(長野県・開業)

◇ 第5回〔昭和58年6月18日(土)〕

9:30~11:00	病的骨吸収の考え方と処置の実際	長谷川紘司(昭和大・歯・保存)
11:00~12:30	咬合変化への対応	栗田春海(静岡県・開業)
13:30~16:30	欠損歯列の総合診断を求めて	金子一芳(東京都・開業)

◇ 第6回〔昭和58年7月16日(土)〕

9:30~11:30	咬耗と歯周組織	羽賀通夫(東歯大・補綴)
12:30~14:30	根管処置後の経過を追う	長谷川正康(東歯大・保存)
14:40~16:30	咬合の変化を通して補綴診療を考える	續肇彦(神奈川県・開業)

◇ 第7回〔昭和58年9月10日(土)〕

9:30~11:30	顎堤吸収への対応	平沼謙二(愛知学院大・歯・補綴)
12:30~13:30	高齢化社会における補綴のとりくみ方 —スウェーデンを中心として—	小宮山彌太郎(東歯大・補綴)
13:40~16:00	補綴診療の加齢をめぐる問題の現時点でのまとめ	関根弘(東歯大・補綴)
16:00~16:30	◇'84以降の展開 ◇受講証の授与・会長挨拶	卒業研修特別委員会

ところ 経団連会館14階経団連ホール

(地下鉄丸の内線・千代田線・東西線・三田線大手町駅・国電東京駅下車)

○ 第219回東京歯科大学学会例会

とき 昭和58年6月11日(土) 午前9時30分~午後4時30分

ところ 東京歯科大学千葉校舎

講演 午前 一般講演

午後 一般講演 特別講演

なお、当日は歯科医療関係商社の展示即売会を併催いたします。

松宮誠一先生名誉学長に推さる

松宮誠一学長には、去る3月31日をもって学長職を退任されました。先生は昭和5年3月母校ご卒業以来、実に53年の長きに亘り、一途に東京歯科大学の発展とともに歩まれてこられました。とくに昭和51年7月からは、関根永滋学長の急逝のあと7カ年学長の要職に就かれ、その間における学内外各界でのご活躍は、同窓会員の等しく知るところであります。

このたび、全体教授会ならびに法人評議会は、そのご功績に対し満場一致をもって松宮誠一学長を名誉学長および名誉教授に推薦し、法人理事会がこれを決定いたしました。大学では、4月1日午後4時30分千葉校舎において、鹿島俊雄理事長が名誉学長称号記を授与され、ついで教職員一同からは記念品と花束が贈呈されました。松宮学長のお別れのご挨拶のあと、臨席者は先生の今後ますますのご健勝をお祈り申し上げつつお見送りいたしました。

同時に、松宮誠一学長ご勇退後の残任期間中の学長職務代行は、高木圭二郎副学長が務められます。



○ 第220回東京歯科大学学会総会

と き 昭和58年11月5日(土)・6日(日)

ところ 東京歯科大学千葉校舎

○ 昭和58年度東京歯科大学同窓会評議員会・総会・懇親会

と き 昭和58年11月13日(日) 午前10時

ところ 高輪プリンスホテル

前号で13日(土)は13日(日)ですので訂正しお詫びいたします。

本部短信

1) 行事出張, その他

(1月行事追加)

- 1月23日 顧問故片山清一氏葬儀
福本理事参列
- 28日 麴町支部懇談会 河邊会長出張
- 2月5日 熊本県支部総会 福本理事出張
- 9日 役員打合せ(共済部担当)
- 9日 名簿編集委員会
- 10日 会則等検討委員会
- 14日 広報部委員会(企画)
- 15日 常任理事会
- 19日 矢追秀彦先生を励ます会
平理事列席
- 19日 麻布赤坂支部総会 河邊会長出張
- 22日 下谷・浅草支部合同懇談会
伊丹副会長出席
- 24日 名誉会員故岡本清櫻氏葬儀
滝監事参列
- 26日 卒後研修セミナー(開講)
河邊会長出席
- 3月1日 卒後研修特別委員会(全体委員会)
- 2日 愛知先生を激励・吉川先生を慰労する会
河邊会長列席
- 12日 卒後研修セミナー(第2回)
- 12日 会則等検討委員会
- 14日 広報部委員会(編集)
- 14日 名誉会員故岡本清櫻氏愛知学院大学葬
河邊会長参列
- 16日 東歯関係日歯役員, 代議員, 県歯会長, 同窓会役員懇談会
- 19日 理事会

2) 罹災会員

罹災会員に対し, 心からお見舞申し上げます。

静岡県支部 上杉知永(昭39.3卒)
(昭58.2.2住宅半焼)

3) 支部長交替

- 麴町支部 田中更士(昭30.3卒)
旧 愛知正晴(昭15.3卒)
- 佐原支部 青柳文雄(昭27.3卒)
旧 古沢節夫(昭20.3卒)
- 大森支部 千葉重博(昭31.3卒)
旧 瀬川克己(昭36.3卒)
- 東信支部 黒沢明雄(昭29.3卒)
旧 林 輝幸(昭18.9卒)
以上 昭和58年1月1日付交替
- 小石川支部 坂井和雄(昭24.3卒)
旧 西井 亮(昭23.3卒)
(昭和58年2月28日付交替)
- 西三河支部 岩瀬 朗(昭34.3卒)
旧 奥平茂一(昭17.9卒)
(昭和58年3月1日付交替)

旧支部長各位には, ご退任に際し, 本会事業発展のためご尽力をいただいた功績に対し感謝状と記念品を贈呈いたしました(昭和57年度から)。

会則等検討委員会委員を昭和58年1月25日次のおとり委嘱, 去る2月10日第1回会則等検討委員会を開催, 委員長並びに副委員長が選任されたのでお知らせいたします。

- 委員長 伊 丹 一 男
副委員長 安 嶋 宣 忠
委 員 永 井 正 弘
" 平 佐 武 郎
" 福 本 忍
" 梅 田 昭 夫
" 菊 池 豊

お詫びと訂正

前号211号(2月発行)支部長交替中, 支部名の掲載誤りがありました。ここにお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

5頁, 栃木県支部は茨城県支部です。

理事会のうごき

第1回理事会昭和58年1月22日(土)午後1時30分於母校西別館会議室、出席者27名、議長伊丹副会長(会長の指示による)主な会務報告並びに協議事項は次のとおりです。

1. 会務報告

- (1) 副会長 吉川大三氏(昭14.3卒)昭和57年12月31日辞任(健康上の理由による)
- (2) 理事 松川健二氏(昭13.3卒)昭和58年1月15日辞任(北海道地域選出理事)
- (3) 理事 喜田正史氏(昭20.9卒)昭和58年1月15日新任(会則第12条第2項による北海道地域選出松川理事と交替)会報に掲載。
- (4) 昭和58年度本会理事会、常任理事会、卒後研修セミナー、広報部委員会年間行事開催日を設定(下記参照:各支部ないし地域支部連合会等の開催日決定にご考慮下さい)。
- (5) 昭和57年度経常部収支予算執行状況および

昭和57年度共済基金収支予算執行状況について12月末日現在にて報告。了承。

- (6) 会務遂行中における役員、評議員、各種委員会委員等、事務職員の傷害保険契約を安田火災海上保険株式会社と昭和58年1月1日締結。了承。

2. 協議事項

- (1) 会則等検討委員会の設置について
委員の選出は会長に一任。
会則、細則全般について検討を承認。
- (2) 経常部会計および共済基金会計の運用資金について
検討することを会計担当理事に一任を承認。
- (3) 支部に属する会員の過年度会費および共済負担金の徴収業務取扱い者並びにその徴収年度の範囲について
検討を承認。

昭和58年度理事会常任理事会等主要行事開催日

理事会・常任理事会		卒後研修セミナー		広報部委員会
開催予定日	区分	回数	開催予定日	開催予定日
1月22日(土)	理事会			1月19日(水)
2月15日(火)	常任理事会	第1回	2月26日(土)	2月14日(月)
3月19日(土)	理事会	第2回	3月12日(土)	3月14日(月)
4月19日(火)	常任理事会	第3回	4月16日(土)	4月13日(水)
5月14日(土)	理事会	第4回	5月21日(土)	5月18日(水)
6月21日(火)	常任理事会	第5回	6月18日(土)	6月15日(水)
7月16日(土)	理事会	第6回	7月16日(土)	7月13日(水)
8月()				8月24日(水)
9月20日(火)	常任理事会	第7回	9月10日(土)	9月14日(水)
10月22日(土)	理事会			10月19日(水)
11月12日(土)	理事会			11月16日(水)
13日(日)	評議員会			
12月24日(土)	理事会			12月12日(月)
原則として				(1) 開催時刻
(1) 開催時刻		(1) 開催時刻		午後6時30分予定
理事会 午後1時30分予定		午前9時30分予定		(2) 会場
常任理事会 午後6時予定		(2) 会場		同窓会事務室
(2) 会場 西別館会議室		経団連ホール		



野口好之名誉教授の逝去を悼む

東京歯科大学市川病院長

森 雅 文

昭和58年1月27日、私達の敬愛しております野口好之名誉教授は、肝癌のため、市川病院教職員一同の努力も空しく、75才の生涯を閉じられました。まことに痛恨の極みでございます。

先生は東京都のお生まれで、昭和7年慶応義塾大学医学部を卒業され、戦時中には陸軍病院外科主任として応召され、昭和15年に正八位に、昭和17年には従七位に叙せられました。

戦後は昭和24年1月、東京歯科大学教授ならびに市川病院外科部長に就任されて以来、昭和47年3月に定年退職され、同時に名誉教授になりましたが、この23年余、本学々生の医学教育に、研究指導に、地域の医療・福祉の向上に、教授として、外科・整形外科部長として、病院長として、また市川市営肢体不自由児施設マザーズホームの

嘱託医として、更に定年退職後も市川病院において、脳卒中などの身体障害者のリハビリテーションに尽力され、勉強も続けておられました。

先生は温厚篤実な御性格の中にも強い信念をもって、半世紀に亘る長い間、教育者として、研究者として、またすぐれた医師として、職責を果されましたので、患者はもとより、先生に接する者ひとしく尊敬の念を抱かざるはなかったのであります。この様な御功績により、葬儀は大学当局の御好意によって、市川病院葬に則り取り行われましたが、偉大なる先生の御逝去は私達にとって痛惜に堪えぬことではありますが、深い悲しみの中に、先生の御遺志に添って、今後本学ならびに市川病院の発展に努力することを誓いますと共に、謹んで御冥福をお祈りいたします。

履 歴 書

本籍地 東京都港区芝白金志田町80番地
現住所 東京都港区白金1丁目3番23号

氏 名 野 口 好 之

生年月日 明治40年3月27日（75才）

- 1. 昭和7年3月 慶応義塾大学医学部卒業
- 1. 昭和7年4月1日 (財)賛育会病院外科勤務（昭和12年3月31日迄）
- 1. 昭和12年4月1日 慶応義塾大学医学部助手（昭和23年8月31日迄）
- 1. 昭和23年9月1日 " 同講師（昭和24年1月24日迄）
- 1. 昭和24年1月25日 東京歯科大学教授（昭和47年3月27日迄）
- 1. 昭和24年1月25日 " 同附属市川病院外科部長に就任（昭和35年3月31日迄）
- 1. 昭和31年7月1日 " 病院副院長に就任（昭和36年3月31日迄）
- 1. 昭和35年4月1日 " 同病院整形外科部長に就任（昭和47年3月27日迄）
- 1. 昭和36年4月1日 " 同病院々長に就任（昭和39年7月6日迄）
- 1. 昭和47年3月27日 東京歯科大学定年退職
- 1. 昭和47年3月27日 東京歯科大学名誉教授（昭和58年1月27日迄）
- 1. 昭和58年1月27日 死去（肝臓ガン）

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます。 (敬称略・届出順)

●大 4 卒 大阪支部	片山 清一 (89才) 〒562 箕面市西小路4-2-5	心不全	58. 1. 21
●昭 18.9 卒 渋谷支部	田中 武臣 (60才) 〒157 世田谷区砧町5-24-7	肝硬変	58. 1. 23
●昭 3 卒 千葉県支部	成毛 寿 (76才) 〒289-03 千葉県香取郡小見川町小見川295-5	敗血症	58. 1. 22
●大 2 卒 大阪支部	光門 石一 (91才) 〒561 豊中市庄内幸町2-12-15	脳血栓	58. 1. 18
●昭 33 卒 西三河支部	矢頭 洋 (49才) 〒471 豊田市小坂町3-7-1	急性心不全	58. 1. 24
●昭 2 卒 北多摩支部	藤本 敏夫 (76才) 〒181 三鷹市下連雀3-3-26	脳硬塞	58. 1. 27
●推 薦 大学支部	野口 好之 (75才) 〒105 港区白金1-3-23	肝臓癌	58. 1. 27
●医 学 校 大分県支部	筒井 健次 (98才) 〒871 中津市豊田町 4 丁目	肺炎	58. 1. 27
●推 薦 牛込支部	畦 森 語一 (90才) 〒162 新宿区若松町72	心不全	58. 1. 29
●推 薦 小樽支部	細川 時次 (79才) 〒047 小樽市奥沢2-6-23	肺癌	58. 1. 31
●大 15 卒 新潟県支部	阿彦 正孝 (79才) 〒943 上越市寺町2-2-3-4	肺炎	58. 2. 4
●大 15 卒 日本橋支部	二宮 譲 (78才) 〒354 埼玉県入間郡大井町亀久保1906-79	脳血栓	58. 2. 6
●昭 13 卒 埼玉県支部	鈴木 国夫 (67才) 〒336 浦和市仲町1-6-4	心不全	58. 2. 9
●医 学 校 荒川支部	名取 義通 (80才) 〒116 荒川区東日暮里5-33-1	気管支肺炎	58. 2. 12
●大 4 卒 横須賀鎌倉支部	佐藤 鹿藏 (88才) 〒237 横須賀市船越町6-69	肺炎	58. 2. 9
●昭 4 卒 青森県支部	太田 清美 (78才) 〒036 黒石市前町50	胃癌	58. 2. 17
●推 薦 練馬支部	荒川 徳次郎 (82才) 〒176 練馬区豊玉北5-15-7	膀胱癌	58. 2. 19
●昭 10 卒 川崎支部	宇佐美 尚宜 (73才) 〒211 川崎市幸区南加瀬2354	胃癌	58. 2. 19
●大 6 卒 尾張支部	岡本 清纓 (88才) 〒465 名古屋市中区東区猪高町高針字梅森坂52-436	老衰	58. 2. 22
●大 10 卒 富山県支部	和田 義孝 (84才) 〒934 富山県新湊市栄新町222	急性心不全	58. 2. 23
●医 学 校 山梨県支部	田辺 広則 (85才) 〒403 富士吉田市下吉田1055	肺炎	58. 2. 21

学 術

臨床 Q. & A.

Q-4 歯周疾患治療にルートプレーニングはなぜ必要か

東京歯科大学（保存）佐藤徹一郎

○ルートプレーニングの目的

ルートプレーニングすなわち root planeing は、このまま訳せば歯根面の滑沢化と言うことになります。しかし、この学術用語の意味するところは歯周ポケット（盲嚢）内に露出する歯根全面の清掃であります。すなわち、歯根面に沈着している歯苔、歯石の除去さらにいわゆる壊死白亜質および病的象牙質を徹底的に削去して健康な象牙質表面を得ることにあります。

もちろん、術後の効果を考えて歯根面は可及的滑沢化する必要があります。

さて臨床でルートプレーニングの行われている何例かを示してみますと、歯周ポケット（盲嚢）搔爬療法、歯齦被弁療法、イニシアルプレパレーション（初期治療）の1項目などがあります。

イニシアルプレパレーションについては後に述べることにして、まず前の2例について考えてみましょう。いずれも歯周ポケットの改善ないしは消失を目的とする療であります。歯周疾患の最大の原因である歯苔と歯石の除去、病的歯根硬組織の削去、さらに歯周ポケット上皮を含む病的歯齦軟組織の除去によって、歯齦と歯根面の再付着を得ようとするものであります。

この際の壊死白亜質はもちろん象牙質表層は細菌に汚染されており、かなりの深さにまで細菌内毒素（エンドトキシン）が含まれています。そして、研究によれば細菌内毒素の及んでいる部位では再付着が著しく阻害されると言われます。

したがって、このような再付着を期待して行われる処置（ほとんどが再付着を目的とした治療が行われている）には必須であります。

○イニシアルプレパレーションにおけるルート

プレーニング

現在ルートプレーニングと言うとイニシアルプレパレーションに関連して考えられることが多いようです。イニシアルプレパレーション・initial preparation とは1940年後半にゴールドマン・Goldman が初めて提唱した語で、歯周疾患の本格的治療（多くは外科的処置）を行う以前に、局所に存在する物理化学的有害因子を除去し炎症を可及的緩解させるのみならず、その結果診断を確実なものとし、さらに治療方針の決定についてはその後の治療を成功に導く目的で行うものとしています。その処置としては次のものがあります。

1. スケーリングとルートプレーニング
2. 口腔清掃法の指導
3. う蝕治療、根管処置、抜歯、歯の分割、歯根切断
4. 歯の小矯正（M・T・M）
5. 暫間固定
6. 選択的咬合調整
7. 症例の再検討

いずれも罹患度、病型、全身状態、患者の精神状態などを考慮しながら種類と順序を決定するものですが、どうしても1と2を除くことはできません。歯周疾患の直接の原因は歯苔であり、とくに歯苔に含まれる各種微生物による歯齦組織の感染によって発症し進行するものと考えられています。したがって、歯苔の歯面への沈着を防ぎ、沈着した歯苔、歯石さらにこれらの影響を受けている歯根面の清掃を行うことは、歯周疾患の発症ならびに進行の防止はもちろん治療上とくに重要なことであります。

臨床では歯周疾患が進行し、ときに急性ないし

亜急性炎症を伴ったために、肉眼的にはその疾患としての本当の姿がつかめないような症例に遭遇することがあります。このような場合、急性歯周膿瘍などに対する外科的処置は別として、ブラッシングの励行と同時にスクレーリングを行うことによって、このような症状の多くは緩解するものがあります。ルートプレーニングはこれらの処置を徹底化するための手段で、ブラークコントロール、スクレーリングと併用して行われる歯周疾患治療の基本的な処置と考えてよいと思います。

なお咬合調整法は歯周疾患治療上大切なことですが、イニシアルブレパレーションでは完全な咬合調整を要求しておらず、選択的な咬合調整を行うよう指示しています。

これは、歯牙の動揺、挺挙、咬合異常などは歯周組織の炎症によって起るものであり、起炎物質の除去によりある程度の炎症緩解を来すと、これらの症状もかなり変化し、その時期における真の咬合状態に近いものが把握できるからであります。

ですから治療開始に当たっての咬合調整は必要最少限度にとどめ、他の処置を含むイニシアルブレパレーションを先ず行うというわけであります。

すなわち、本格的咬合調整は7の再検討後、次期に行う治療時、さらに治療後の再検討にしたがって計画・施行することになります。さもないと、必要以上の歯質の損失を来します。

○ルートプレーニングの効果

前述のようにルートプレーニングを行うと炎症の緩解さらに咬合状態のある程度の正常化などが得られますが、さらに歯周ポケット底部における多少の再付着ならびに歯齦縁部の退縮（浮腫性の場合に著しい）が起りポケットの深さが浅くなります。したがってその結果によっては初めに考えていた治療方針の変更、時には外科的治療の必要がなくなる場合があります。7の症例の再検討です。もちろん、歯周ポケットが浅くなると言っても再付着を目的としたものではありませんから、大量の付着は期待できません。

このような効果からして、ルートプレーニングと同時に歯周ポケット上皮を行うべきだと考える人もいますが、本来の目的とは自ずから別のもの

とすべきでしょう。

○ルートプレーニングの術式

イニシアルブレパレーションの1項目としてスクレーリングとルートプレーニングと記されていますが、これはいわゆるスクレーリングを歯冠歯根を含む全歯面沈着物のみの除去と解釈し、歯根の白亜質、象牙質の清掃とは別のもので考えたものでありますが、実際の歯周疾患治療上では同時に行うことが多く、このような場合とくに分けて考えることはないと思います。

スクレーリングには各種平用スクレーラー、ロトソニックスクレーラー、超音波スクレーラーなどが使用されますが、ルートプレーニングには平用スクレーラーを使います。

これは、器械を通じて手指に伝わる感触をたよりに行う操作であり、とくに病的歯牙硬組織の軟化した部分の削去感を得るためには、どうしても平用スクレーラーでなければなりません。

なお使用するスクレーラーは鋭利な小形のキュレットタイプが主体となっています。これはスクレーラーの操作上、引く場合にも押す場合にも使用でき歯根面が比較的平滑に仕上るからです。もちろんホータイプも使用されますが、キズが付きやすいので十分注意して使用して下さい。歯根面にキズがあると、そこに歯苔が付きやすく、また根面カリエスの原因にもなります。いずれにしても、鋭利なスクレーラーでなければ良い結果が得られません。完全なルートプレーニングにはかなりの習練を要します。例えば3mm程度の深さの場合にも十分行つたつもりでも完全でないことが多く、4mm、5mmになると更に困難になるとされています。

しかしいかに深いポケットのものに対しても注意深く行えばそれなりの効果はあります。もちろん、習練によってかなり深いものに対しても清掃可能となりますが、いずれにしても、十分に行うためには浸潤麻酔下で無病的に施行すべきであります。そして、術後はポケット内を十分洗浄して汚物を除去しなければなりません。施術部への薬剤の応用は不必要です。術後1週間位でその効果があらわれますが、ブラークコントロールの励行は絶対に必要であります。

第11回同窓会主催全国ゴルフ大会

昨年11月12日、千葉県袖ヶ浦カントリークラブ袖ヶ浦コースに於いて、ゴルフ大会を催しましたところ、全国各地から約180名の同窓の参加を得て盛大に挙行されました。晩秋には珍しく好日和に恵まれ、半袖姿のプレイヤーも多く見られ、コース側の配慮で適当にピンの位置も難易度をつけて立ててくれたので楽しく競技出来たことと思います。

事故もなく予定通り4時30分より、大学側からは、高木副学長を御多忙の所ご出席載き、表彰式並びに懇親会を行いました。板垣同窓会長代理、高木副会長、城谷大会会長、天羽千葉県支部長の挨拶祝辞等があり、今回出場者の中で一番遠方から参加された北海道旭川の高橋先生の音頭で乾盃、経過報告、会計報告、競技委員長よりの講評、成績発表がありそれぞれの賞を、板垣副会長並びに来賓の先生方から贈呈されました。尚その席上で、第1回ゴルフ大会から第10回までの10年間の長きにわたって、企画運営に大変ご基力下さいました熱田俊之助先生が、同窓会常任理事を辞められたので、河邊同窓会会長より、そのお骨折に対し、感謝状と記念品が贈られました。

優勝	同窓会長杯	加藤克之
準優勝	学長杯	轟稔
シニア優勝	理事長杯	亀井利男
ベストグロ賞	病院長杯	清水潮

続いて50位まで、シニアは5位まで賞品が授与され恒例により受賞者の喜びと感謝のことばがそれぞれあり、和やかなうちに散会となりました。今回は会場に馴れたせいかわり遅刻者や無理な注文をつける者が殆んどなく非常にスムーズに大会を終ることが出来、又はじめて女性の参加がありました。本年も是非誘いあって出て下さることを期待致します。運営者側として出場された皆様の御協力に対して感謝致します。本年も千葉県同窓会にご無理をお願いして、11月11日(金)、同じ場所(袖ヶ浦カントリークラブ)で開催する予定です。詳細につきましては後程同窓会報にてお知らせ致しますが今年は第71回FDI年次世界歯学大会が

11月14日より東京に於いて開催されますので、全国各地よりの多数の参加を期待しております。

(杉山邦夫 浜野直彦)

ご挨拶

同窓会会長 河邊清治
大会名誉会長

同窓会主催全国ゴルフ大会も早や11年目を迎え、全国より177名の多数の同窓会員の参加のもとに晩秋には珍しい晴天無風下で盛大裡に催されたことは誠に喜ばしいことでございます。

当日は皆様と親しくお逢いしてお話出来ることを心待ちにしておりましたが、所用のため失礼したことを大変残念に思いここにお詫び申し上げます。

同窓諸氏が一堂に会して日頃の技を競いあい、親睦の実をあげ今回も無事故で初めて女性ゴルファーの参加を得た事などこの大会の益々の隆盛ぶりには主催者として大変嬉しく思っております。

同窓会の事業も皆様のご支援により益々伸展しており、来年も11月11日袖ヶ浦C.C.に於いて第12回全国ゴルフ大会の開催が予定されております。奮ってのご参加をお待ちしております。

本大会開催にあたりご援助載きました学校法人、大学当局並び役員関係者、千葉県同窓諸先生に心から感謝致し厚くお礼申し上げます。

ゴルフ大会を終って

大会会長 城谷加寿雄

第11回同窓会主催ゴルフ大会を、千葉県袖ヶ浦カントリークラブに於いて、180名の同窓諸氏を迎え開催致しました。晴天無風の絶好のコンディションのなかで、快適なプレーと親睦の実をあげて載けたことと思います。第12回ゴルフ大会も運営役員と相談して楽しい企画をしまいる所存ですが、一番の悩みはゴルフ場の選定です。千葉県以外の諸君のご協力、斡旋を是非お願い致します。毎年のことながら学校法人、大学当局及び同窓会

長より数々の優勝杯をご寄贈下され誠に有難うございました。本大会運営に際しましてお骨折り載きました役員、特に本年も袖ヶ浦カントリークラブで開催ご協力下さる千葉県同窓各位に心から感謝致し厚くお礼申し上げます。

東歯同窓会ゴルフ大会に参加して

轟 稔 昭和33年卒

東歯同窓会ゴルフ大会は、年1回東歯家族が一堂に会して思う1日、私にとって数あるゴルフコンペの中で最高のものになっています。それは、広大なゴルフ場に居る人々全て家族という感じでプレー出来る1日だからです。

隣ホールに打ち込んで「失礼しまあ〜す」と云いながら自分のホールに打ちかえす時、フトあまりにも気楽にアドレスしている自分に気が付きません。そして又、前の組が長時間ボール探してウロウロしていても、後の組がボールを打ち込んで来ても少しも気にならず、かえってほほえましく思っている私自身に「人間、勝手なものだなあ」と苦笑してしまいます。

久しぶりに会った友人と「気分だけは最高」と結果を気にせず、プレーと会話を楽しみ、入賞などには全く縁の無いスコアでも、優勝したような満足感で帰路につくのが例年でした。しかし今回は全く偶然、ドライバーが曲らず、アプローチが決まり、その上「ミドルホールで7打」に女神がほほえみ、37, 42, H. CAP 8, NET 71, 第2位学長杯を載きました。

受賞の折、友人から「子供の入試時、学校へもって行け」と声をかけられ、とたんにカップが重くなってしまったのはどういう訳でしょう？

CM文になってしまったついでに、もう一言、「全国同窓諸先生、東歯同窓会ゴルフ大会は、あなたに最高の1日を保証します」 終

—シニア優勝—

亀井 利男 昭和24年卒

昨年11月12日行われた同窓会第11回ゴルフ大会においてシニアの部で計らずも優勝、理事長杯を

掌中にして大変嬉しく思い会報を以って改めて厚くお礼申し上げます。杉山理事のピンチヒッターとして出場今年からシニア入りと大変複雑な気持ちで同級生6人が参加しましたが、1, 2, 3, 5位と上位を独占、いとしい頑張れという所でしたが、長年の名幹事として表彰された熱田俊之助君と同ネットの結果において彼が表彰と優勝を両手に出来なかった事が唯一の心残りであります。誰でも良いスコアをとる心は常であります。日頃の診療から解放され広々とした緑の上で同窓諸先生との触れ合い或いはその充実感は何ものにも替え難いものであります。ゴルフは人間が解るスポーツであり又心臓と血管の鍛練になるとも云われておりますがきびしい世相の中で時代の大きなうねりに流されないためにも確かな健康をつかんで、この素晴らしいスポーツをいつまでも続けたいと思います。最後に同伴頂いた三先生並びに大学及び同窓会大会役員の諸先生に心から感謝いたします。

—ベストグロ賞—

清水 潮 昭和36年卒

以前からこの大会に参加したいと思っていましたが機会に恵まれず、ようやく今回参加する事が出来ました。新潟では11月中旬はシーズン・オフも近く天候も不順ですが、秋晴れに恵まれた袖ヶ浦は大変暖かくいつも関東でプレーする度に羨ましく思っています。その暖かさのせいでしょうか珍しく好調でアウトは2オーバーでまとまりました。しかし最初が良いとあとが崩れる悪い癖があるのですが、この日は苦手のバンカーにも入らずパットも良く決まり私にとって久々の好スコアになりましたが、まさかベストグロスになるとは思いもよらず意義ある病院長杯をいただき非常にうれしく思っています。これもパートナーの野村、飯田、小倉各先生の素晴らしいプレーと私に対する配慮のお陰と感謝しています。最後に大会参加の諸先生方をはじめ関係者の方々、特に杉山、浜野両先生に厚くお礼申し上げますと共に本大会及び同窓会の今後のご発展をお祈り申し上げます。

母校だより

三笠宮殿下千葉校舎を ご視察

去る昭和57年10月14日(木)、東京歯科大学千葉校舎キャンパスの新築を機会に、三笠宮崇仁親王殿下のご来駕を仰ぎ、校内を3時間にわたってつぶさにご視察され、さらにこれを記念して植樹をいただいた。幸い好天に恵まれたこの日、鹿島俊雄理事長および鈴木和夫教授のご案内で、予定どおり12時30分、正門にご到着、松宮誠一学長以下大学幹部が臨床管理棟玄関にお迎えした。理事長、法人役員、大学役職員と特別会議室でご会食、ご懇談後、学内ご視察に向われた。

まず6階(病室)においては入院患者も見舞われ、かつて殿下ご自身が東京歯科大学で抜歯されたことのお思い出など語られ、上階から下階へと歩を進められた。基礎棟に移られて4階法歯学研究室から3階解剖標本室、2階臨床基礎実習室から図書館史料室に向われた。丁度実習室においては学生の補綴実習の授業が行われており、視聴覚教育の実情をご視察され、実習内容などを学生に直接ご質問された。ついで中庭から臨床管理棟玄関に廻られ、玄関わきに記念植樹されて、全視察日程を終了された。このあと理事長室でご休憩の折、歯学教育機関として理想的な環境と設備に対する賛辞をいただくと共に、揮毫を賜わった。そして午後3時30分にご帰還された。

千葉校舎開校一年を 顧みて

学長 松宮 誠一

早いもので、もう一年が過ぎた。あの開校式・開院式、そして創立90周年記念式典の盛大な催しがまだついこの間のように思い浮ばれる。

幸いこの1年間のうちに大学の運営は、全教職

員各位の絶大なご協力によって漸く軌道に乗った感がする。

「世界に冠たる東京歯科大学を」は建設以前からわれわれの合言葉であった。しかし言うことはやさしいが、その実現は決して容易なものではない。

何をもって「世界に冠たる」と言えるのか。これは人によっていろいろな意見があるかも知れない。しかし、私は私なりにつぎの三つの要素の達成をもってはじめて「世界に冠たる」と言えるのではないかと思う。

その第一は、それにふさわしい立派な校舎、病院、研究室その他の施設および設備を具えることである。幸いこの条件はいまやほとんど達成された。

第二は、大学としての立派な教育制度および研究体勢の充実である。ここ数年間にこれらの問題は教員諸氏の多大なご協力によって、じつに飛躍的な発展をとげた。すなわち6年一貫性の成立、合理的な教育カリキュラムの制定、試験制度の進歩、国際的協力態勢の発展、奨学制度の一環としての花澤賞の設定などが挙げられる。そして今後さらに総合研究の確立・教育カリキュラムの一層の改善、卒後研修の充実なども活発に進められる必要がある。

第三は、豊富なすぐれた教授陣を完備することと次代を担う若き人材に対する育成方針の確立である。ことに後者については今後なお積極的に努力が続けられねばならない。

わが東京歯科大学は、いまや内外の歯学界から注目の的となっており、われわれは、これらの期待を失わないよう、しっかりと目標をめざして努めて行かねばならないと思う。

千葉病院開院一年を 顧みて

千葉病院院長 高橋 庄二郎

千葉病院は昭和56年9月1日、歴史的な開院式を挙げて誕生以来、はや1年を経過いたしました。

開院当日には早朝から数十名の患者が病院玄関前に待機しており、当日の患者数は331名を数え、誠に多忙な1日でありました。それ以来、本病院に勤務する教職員一同の御努力により、患者数は漸次増加し、開院以来57年8月31日に至る満1ヵ年間に於ける外来患者数は112,403名でありました。病室を全面的に開放し、手術室を使用し始めたのは57年に入ってからであります。入院患者数は5,733名に達し、入院患者の手術件数も212件を数えました。このようなことから、臨床教育に必要な患者数はすでに確保し得たものと考えております。

千葉病院には従来の東歯大病院になかった、いくつかの施設が置かれました。それらは中央消毒室、中央技術室、総合予診室、歯科麻酔外来などです。

千葉病院では診療用器具はすべて高圧蒸気滅菌を行うことになり、中央消毒室は開院当日からフル回転に入りました。また教職員が水道橋病院から千葉病院に漸次移動するのに伴って総合予診室は12月から、中央技術室は57年1月から全面的に使用されるようになりました。

本病院は開院にあたり、千葉県ならびに本県歯科医師会より、身障者の歯科診療を強く要望されました。57年3月には病院内に身障者歯科診療委員会が結成され、歯科麻酔科外来において全身麻酔による身障者の歯科治療が行われるようになりました。

いづれにしても、この1年間、新病院として多くの困難に直面いたしました。病院勤務者の絶大な熱意と御努力により、多くの困難を克服し、順調に発展して参りました。千葉病院もこの新天地において初めて四季をみつめてきたことになり

ます。

今後、千葉病院はこの1年間の実績を礎として、年々歴史を積み重ねてゆくものと存じます。最後に、本病院に勤務する教職員一同の御努力に対し深甚な謝意を表するとともに、大学関係者御一同の御協力を心から御願ひする次第であります。

水道橋病院発足一年を 顧みて

水道橋病院院長 長谷川 正 康

東京歯科大学同窓諸兄姉が「水道橋の病院」といいならわしていた東京歯科大学病院は、昭和56年9月1日、大学の千葉市への移転に伴い、同日付で名称を変更し、東京歯科大学水道橋病院として新たな組織で発足した。

昭和56年度中は、移行期のため、段階的運営を計ることとした。

第1段階として、9月1日より11月30日までの3ヵ月間は、臨床実習で水道橋病院に残された専4年生の臨床教育を主体に運営することとし、千葉病院の協力を得て、病院全員一丸となって努力した。その結果は、歯科医師国家試験に全員合格という輝かしい成果をあげることができた。

第2段階として、12月1日より昭和57年3月末までの4ヵ月間は、いわば終戦処理的様相で推移、その反面、昭和57年度新体制への準備期間であり、今後、水道橋病院の性格、位置づけ、使命の問題、さらには、予算の編成など困難な問題に立ち向った時期であった。

具体的には、医員診療形態への切換え、千葉病院への人員配置替えの結果、人のいない空白部署（放射線技師、臨床検査技師不在）が生じ、緊急にパートで補充するという困惑事態が生じた。また、緊急入院処置患者と同窓諸兄姉からの紹介患者の入院に関して、理事会、教授会のご配慮により、昭和57年1月～3月は例外的に入院患者受入れ、4月以降再開できることになった。この1月～3月の間、栄養士、調理師不在のため、また看護婦不足のため給食は勿論、入院関係の仕事は、

病院教職員一丸となってこれに当った。時として給食を職員が自宅から持参したこともあった。

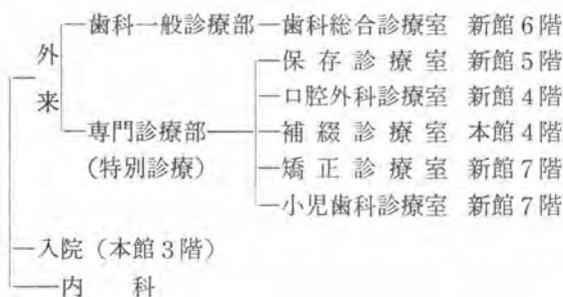
昭和57年4月1日、57年度にあたり水道橋病院が名実ともに新制度で発足、スタートするにあたって、取り組むべき課題は山積していた。これらの多くの問題を解決すべく、水道橋病院幹部会は、診療の合間を見つげ次第集り、共通理解、各々の意思統一、同一歩調をとるべく、57年正月明けより精力的、且つ真剣に討議を重ね、その結果を「水道橋病院運営基本方針(案)」と題し、稟議書として提出した。

その内容は、水道橋病院の目的、性格、位置づけ、年度ごとの運営基本方針を第一とした。

人事面では、予算定員教員31名(内教授4名、講座出向者20名、稲毛診療所より配置替5名、病院長他教授1名)と医療職員並に事務職員、技術職員、労務職員等予算定員121名(9名未補充)、他に特別研究生5名である。昭和57年度より水道橋病院が、経理単位として独立運営する立場になったものの、教授4人並びに講座派遣制の20人に関しては、所属が一元でない点、病院長として各人を管理下におくことの困難を感じている次第である。

診療面については、“医員診療のあり方”について、永年水道橋病院を信頼して受診されている患者、同窓諸兄姉よりの紹介患者の受け入れ態勢、これらの需要にこたえられる病院としての機能の確保を第一とし、その上、臨床教育の一部を担うこと、採算性を加味して、現人員で成り立つ最大限の方式として次の如き診療体制となった。

この方式は、一応本年度つづけ、来年度にかけて、広義の総合診療の体制に移行し、さらに、各



部門を統合し、新館に移る予定である。

さて、教育については、現4年生は昨秋、専3のとき水道橋病院で一年先輩の臨床実習を9日間見学し、この後千葉病院で実習に入った。その後、本病院に前、後期各5日間来る。受入れる本病院側としては、負担は覚悟の上で、進んで対応し、関係者一同努力している。

水道橋病院の内部態勢としては、各部署とも、おかれた立場、条件の中で、各自、それなりに努力中である。夏季も午後5時まで、普段通りに頑張った成果で、8月期ははじめて収入予算を達することができた。収支不均衡の問題は、構造的な要因もあり、それ自体大きな悩みで、57年度下半期以降、状況を一步でも前進させたいと念じている。

一年を顧みてとはいいいながら、新発足の水道橋病院はやっと半年を経過したばかりです。今後とも大学各部門の皆様方の絶大なご援助を賜りたいと存じます。

★学位記授与

第290回(57. 9. 13)合格	第291回(57. 10. 12)授与
原島 晃 (口外 I)	第701号甲335号)
橋本 勝一 (微生物)	第702号乙367号)
鈴木 敏正 (矯正)	第703号乙368号)
塚本 良久 (生理)	第704号乙369号)
第291回(57. 10. 12)合格	第292回(57. 11. 8)授与
鈴木千枝子 (小児歯)	第705号甲336号)
財部 正治 (補綴 II)	第706号甲337号)
中村 正幸 (補綴 II)	第707号甲338号)
田崎 雅和 (生理)	第708号甲339号)
尾上 暲 (組織)	第709号乙370号)
高江洲義寛 (法 歯)	第710号乙371号)
須田 希 (小児歯)	第711号乙372号)
守谷 正 (病理 II)	第712号乙373号)
高木 省三 (矯正)	第713号乙374号)

★専門課程第3学年(89期生)登院式

専門課程第3学年(155名)の登院式が、10月7日(木)、午前9時45分から千葉校舎第2教室において挙行された。高木圭二郎副学長挨拶、高橋

庄二郎千葉病院長訓辞につづき羽賀通夫臨床教育委員長より臨席者の紹介が行われた。また、登院式終了後、臨床実習に関するオリエンテーションがあり、千葉病院各科、水道橋病院、市川病院などの実習内容につき詳細な説明が行われた。

★フロリダ大学歯学部10周年記念式典

フロリダ大学歯学部10周年記念式典は、昭和57年9月24・25日の両日、フロリダ州 Gainesville 市 Hilton ホテルで開催された。初日朝8時半、Allen 学長は開会を宣言し、来賓の紹介をした後、歯学部の歴史を概説し、将来を展望した。ついで元アメリカ歯科医師会会長 Kerr 博士が“The future of dental practice”と題して、特別講演を行い、受診者の発掘と歯科診療範囲の拡大を強調した。フロリダ州歯科医師会 G. J. Goodreau 会長は“Why we need you”と題して、州立大学歯学部の意義および同窓への期待の大きい事を述べた。Academy one hundred の G. W. Starks 会長は歯学部の発展にとって同窓会がいかに重要であるかを力説した。午後は随意参加の大学構内見学およびゴルフコンペが行われた。夕刻7時 Hilton ホテル大広間でカクテルパーティーに引続いて晩餐会が開かれた。席上、高添教授は東京歯科大学からの心を伝え10周年記念を祝福した。引続き、Allen 学長より鹿島理事長、松宮学長および高添教授夫妻に対する感謝のしるしが贈られた。

翌25日は朝8時から卒業年度別にテーブルの設けられた会場で Breakfast meeting が開かれ、朝食後各クラス代表7名がカリキュラムと卒業活動との関連性について演説した。第一に学際的教育の効果が高く評価された。また学生はさらに学ぶ余裕があるという積極的な発言もあった。歯科医師自身の心理学および行動科学の必要性を強調した報告は注目された。それぞれの報告に対して Allen 学長 および Shreve 副学長は短いコメントとともに謝意を述べ、満場の拍手を浴びていた。午後はゲーターズ<フロリダ大学>対ブル<ミシシッピ大学>のフットボール(観衆7・8万人)に招かれ、豪雨についての猛プレーにこれ

までに経験のない興奮を味わった。なお高添教授は、9月23日午前8時から歯周病研究センターで“B. gingivalis とその周辺”と題して1時間半のセミナー、ついで記念講演“Biology of dental calculus formation”を大学講堂で行い、客員教授の席をふさいだ。また9月25日夕刻には東京歯科大学主催(当日到着した伊藤彰人助教授ならびに留学中の伊藤 司君同席)の晩餐会をレストラン・ソブレンで催し、Allen 学長、Shreve 副学長夫妻および Clark 歯周病研究所長夫妻を囲んで大いに語り、楽しい一時を過ごした事を付記する。(高添記)

★第14回東歯祭開催される

第14回東歯祭は、10月30日(土)から11月3日(水)までの5日間にわたり開催された。今回の東歯祭は、千葉校舎移転後2回目であり、千葉校舎での生活にも慣れた学生実行委員会の努力により、展示部門もより充実した内容の展示がなされ、また競技会には例年になく多くの教職員の参加があった。

会期中は天候にもめぐまれ、展示、講演会、映画会やコンサートなどへの大学近隣住民の方々を含め学外からの参会者は5日間延べ4,600余名の多数をかぞえる程の盛況であり、大学祭を通じての地域住民との交流が着実に根をおろしつつあることがうかがわれた。

★解剖諸霊位供養法要

昭和57年度解剖慰霊祭は、11月18日(木)午後2時30分から文京区小石川の真珠院本堂で執り行われた。

医学教育と研究のため、その尊い意思により献体された諸霊位、並びに市川病院で亡くなった諸霊位に、深い感謝を捧げ、冥福を祈念して、学長をはじめ、学校、病院関係者、専1学生全員が列席し、ご遺族も多数参列された。

石井導師の調誦のあと松宮学長の祭文朗読が行われ、ひきつづき参列者全員が焼香し、導師の送仏偈で法要は滞りなく終了した。

この後、ご遺族と大学関係者の墓参が行われ、

午後4時30分頃解散した。

★実験動物供養祭

昭和57年度動物供養祭が、11月25日(木)、午後1時から基礎棟1階の第2ラウンジで行われた。検見川の広徳院住職、勝又導師の読経により、教職員・学生が一人ずつ焼香をして実験に供された動物の貴重な霊を懇ろに弔った。

★補導関係者・父兄懇談会ならびに父兄会臨時総会開催

昭和57年度大学補導関係者・父兄懇談会は去る11月27日(土)午後1時から千葉校舎において開催された。

当日は午後1時から約30分間講堂において学長、学監の挨拶および教務・学生両部長による学生の就学状況についての全般的報告が行われた。引き続き各学年、各クラスに分れ、それぞれの学年主任、副主任あるいはクラス主任との個別面談が行われ、午後5時過ぎ多大の成果を挙げ無事終了した。当日出席の父兄は総数396名であり出席率は39%であった。ちなみに学年別では1年105名(57%)、進2年93名(49%)、専1年64名(43%)、専2年36名(22%)、専3年41名(26%)および専4年58名(35%)であった。

なお懇談会に先立って正午からは臨時父兄会総会が開催され、故大川豊太郎氏の逝去により空席であった監事の補充選任が行われ、前副会長の小山実氏が選任された。

また午後6時からは父兄会主催による補導関係者と父兄会役員との懇談会が厚生棟第1食堂においてもたれた。

★市川歯科医師会講習会開催

オーラルメディスン教室は、市川歯科医師会(千葉県)の要請により、『歯科外来における全身の偶発症の対応について』と題する講習会を11月27日(土)、28日(日)の両日にわたり、市川病院において開催した。

第1日目は、侵襲と生体反応、救急蘇生法の必要性和その対策についての講義を中心に行い、

“新生命の脈動”の映画を上映した。第2日目の午前中は、一次救命処置を中心に救急蘇生法の解説および実技演習を、午後は簡単な外来臨床検査の基本的手技と演習を中心に行った。

インストラクター20名、受講生40名計60名で、前日よりの寒さにもめげず、熱心に講義に耳を傾け、実技演習に汗を流していた。とりわけ、実習用レスキューマネキンを相手にした一次救急蘇生法の実技では、冬空にもかかわらず、腕まくりをしながら、額に汗を滲ませ奮闘した受講生が多くみられた。外来臨床検査の実技では、受講生相互で検査を行ったので、おおむね、健康診断を実施している趣があり、和気あいあいのうち、実りの多い時間を消化した。

★体外受精センター開設



東京歯科大学
市川病院産婦人科

大野 虎之進

生殖科学の発展はヒト生殖医学の領域に多大なる影響を与え、既に多く臨床的に応用されています。紀元前より行われたとされる家畜の人工授精は、今日では畜産界での繁殖方法の大部分は人工授精であり、殆んどが凍結保存精子が用いられております。現在では、むしろ優秀種の受精卵移植による品種改良が盛んになりつつあります。それに伴い受精卵の凍結保存法の向上が目下の研究目的であります。ヒトの受精卵移植は1978年イギリスのステプトー等により初めて成功し、既に全世界では100人にのぼる所謂試験管ベビーが生まれています。我国では軽々にこの試みに加わることなく1982年10月受精着床学会を設置し、日本産婦人科学会に於ける倫理要綱を定めて、実施に踏み切った次第です。東京歯科大学市川病院産婦人科でも10年前より、卵の培養の研究に着手し準備をしてきました。未だ数大学が施設を作ったに過ぎませんが、多くの大学が受精卵移植に意欲を燃やしています。わが市川病院に体外受精センターを設け、少しでも我国での先駆的役割を果せれば幸

いであると考えています。大学始め多くの先生方の御後援を戴ければ幸いです。

★市川病院, 特殊外来のお知らせ

このたび、市川病院には体外受精センターが開設された。また同時期に、整形外科担当の手の外科、小児整形外科が開設され、従来の6特殊外来と合わせ、9外来となった。医療も専門化、多様化してきたので、特殊外来の必要性、重要性が強調されるところである。これら市川病院の9特殊外来、担当科、外来日をお知らせし、多数の患者の受診をお願いする。

月曜日：肝臓病外来、糖尿病外来（以上内科）

小児整形外科外来（整形外科）

火曜日：小児科特殊外来（小児科）

水曜日：皮膚科外来（皮膚科）

木曜日：神経内科外来（内科）

手の外科（整形外科）

体外受精センター（産科）

鼻アレルギー外来（耳鼻科）

★イエテボリ大学歯学部 プロネマルク教授

本学を訪問 講演会開催

Sweden, Göteborg 大学歯学部 P-1

Brånemark 教授は、骨伝導性補聴器の開発に関して通産省の招きを受け、現在同校に留学中の小宮山彌太郎（補綴学Ⅲ）講師を伴って10月初旬に来日し、10月15日には本学を訪問された。大学としては、昼食を兼ねたレセプションが催され、同教授はこの後、講演と学内視察をされた。

講演会は「Osseointegrated Implants について」という演題で同日午後1時30分より開催され、多数の関連科目の教室員が聴講した。講演に先立ち世話役の関根 弘教授よりBrånemark 教授の紹介が行われ、教授は解剖学を担当され組織微小循環を専攻されていたがその研究から発展したこのOsseointegrated Implants の開発を進めて来られたことが述べられた。

この Implants 法は Titanium screw を無歯顎患者の顎骨内に挿入固定し、この screw を支台とした Bridge を装着する療法であるが、

Brånemark 教授はこの Implants 法の特徴として、Titanium screw と新生骨面とが密着し両者の間の結合組織が極めて薄く無に等しいので従来の Implants 法の欠点である“Implants と骨面との間の結合組織（擬歯根膜）の炎症性変化が生じない”点をあげ、Titanium screw に対する生体の反応に関する病理組織学的検討、本 Implants 法の術式および10年を越える経過観察等について解説し、さらにこの Implants 法を応用した人工関節、骨伝導性補聴器および顎顔面補綴等に関しても言及され、本法の従来のインプラントと異なる有用性を力説された。（岸 正孝記）

★海外往来

○金光秀明教授

金光教授（物理学）は、9月29日から10月23日の約1カ月にわたりスウェーデン、カロリンスカ大学およびアメリカ、フロリダ大学に出張され、歯科物理学的研究の報告および物理教育設備を見学された。

○関根 弘教授

関根教授（補綴学Ⅲ）は、10月6日から10月22日にわたりオーストリアのウィーンで開催された第70回FDI年次世界歯学大会の歯科教育・診療委員会に参与候補として出席され、あわせてフランクフルト大学、ウルム大学（西ドイツ）、イエテボリ大学（スウェーデン）の各大学の視察のため出張された。

○石川達也教授

石川教授（保存学Ⅲ）は、第70回FDI大会およびI. S. O. T. C. 106会議に参加のため、10月6日から10月22日までの予定でウィーン（オーストリア）へ出張された。

○Prof. P. I. Brånemark

（Department of Anatomy, University of Göteborg, スウェーデン）Brånemark 教授は10月15日、本学を訪問され、Osseointegrated Implants について講演されるとともに、学内を視察された。

— 母校だより —

○ Prof. K. W. Knox

(Institute of Dental Research United Dental Hospital of Sydney, オーストラリア)
Knox 教授は、11月29日日本を訪問され、Effect of Growth conditions on the surface structure and chemistry of oral bacteria.と題する講演を行われ、同時に学内見学をされた。

○高添一郎教授

高添教授(微生物学)は、第70回FDI年次総会ならびにCORE委員会、INCOGDET委員会、学術プロ委員会に出席のため、10月6日から10月18日にわたってウィーン(オーストリア)へ出張された。

○柴田考典助手

柴田助手(口腔外科学Ⅱ)は、第4回咬合に関するシンポジウム(バンクーバー・カナダ)、第64回アメリカ口腔外科学会(アトランタ・アメリカ)、第123回ADA総会(ラスベガス・アメリカ)の各学会へ出席し、さらにフロリダ大学、南カルフォルニア大学ロスアンゼルス校訪問のため10月14日より12月15日にわたり出張された。

★人 事

退職 講 師 湯本 衛(歯麻) 57. 8. 31

講 師 高梨 公男(補Ⅲ) 57. 8. 31
助 手 宝田 恭子(保Ⅰ) // // //
和田 大海(保Ⅱ) // 9. 30
採用 講 師 高久 悟(衛生) // 8. 1
助 手 松崎 正信(矯正) // // //
休職 講 師 杉山 直(歯放)57.9.8~57.11.30
海外出張期間延長

講 師 小宮山弥太郎(補Ⅲ)57.9.16~57.12.15
退職 講 師 伊東 哲(歯麻) 57. 11. 30
" 真木 健(市病産婦人科) // // //
助 手 得 由美子(小児歯) // // //
昇任 講師より 陳 田 柏(市病内科) // 11. 16
助教授へ " 高橋 正憲(// 整外) // // //

(配置替)
水道橋病院から千葉院病へ 講師 松田 康男(口外Ⅰ) 57. 10. 1
採用 副 手 加藤 哲男(微生) // // //
助 手 大野 裕子(小児歯) // // //
" 原島 晃(口外Ⅰ) // // //
" 田崎 雅和(生理) // 11. 1
講 師 中村 正幸(補Ⅱ) // // //
復職 助 手 湖城 麗(歯放) // // //
歯科麻酔科医局長交代(57.10.1付)
新 任 講 師 小川 克昌
旧 任 " 伊東 哲
衛生学教室幹事交代(57.10.1付)

新 任 講 師 高久 悟
旧 任 助 手 橋本 雅範
(大学広報84, 85号から抜萃, 掲載)

第88回東京歯科大学卒業証書授与式

—千葉校舎講堂で盛大に挙行さる—

母校の第88回卒業証書授与式は、去る3月25日千葉キャンパスの講堂で、多数の関係者の参列のもとで挙行された。

式は午前10時30分の父兄会寄贈の舞台ドン帳の開幕でスタートした。中久喜喬学生部長の司会で開式され、「君が代」斉唱のあと、高木圭二郎副学長の学事報告があり、次いで金竹哲也学監の呼名で卒業生一人ずつが起立して答礼した。これを終始見守っていた松宮誠一学長より卒業生を代表して鳥居一也君に一括して証書が授与された。

次いで授賞に移り、最優秀賞としての花澤賞に鳥居一也君が、優等賞は福本裕、石河信高、関谷栄および関口みゆきの諸君に与えられた。さらに皆勤賞が澤辺俊二君に、精勤賞が古沢正仁、荻原俊美、小林慶太および福本裕の諸君に与えられた。また、卒業論文賞が、寺本守、野平信章、吉田浩一、小高千加子、久保木裕子、兵頭いづみ、上條英之、外木守雄、佐草徳子、石河信高、江里口諭、鳥居一也、永井正志、古沢正仁、真中美恵子、西口しげき、藤原理彦、杉山哲也、関谷栄および芹沢直記の諸君に与えられた。

松宮誠一学長の告辞に引き続き、鹿島俊雄理事長の式辞、来賓の河邊清治同窓会長の祝辞があり、祝電が披露された。在学生代表として常磐修

君が送辞を述べ、卒業生代表として石河信高君が答辞を述べ、合唱部のコーラスのリードで出席者全員による校歌の斉唱で厳粛かつ盛大な卒業式典が終了した。多数列席された父兄を含め一同卒業式の厳粛さと盛大さを共に慶び合った。

式の終了後、引き続き記念品の贈呈が行われた。河邊清治同窓会会長が会員章（バッジ）と金一封の祝金を、また矢島忠夫父兄会長が記念品と金一封の祝金をそれぞれ卒業生の代表に贈った。また卒業生からは、母校へ記念品として末吉真澄氏作の平戸焼の花瓶が贈られた。

なお学事報告によると、当日現在の在籍学生は1,006名で、今回の卒業証書授与式で卒業証書を授与されたものは、前記在籍者のうち166名である。大学設置以来の卒業生としては4,514名、専門学校設置以来の卒業生と合わせると10,527名となり、さらに高山歯科医学院創立以来の通算では10,818名となる。

式典終了後、体育館に席を移し、卒業生は恩師を囲んで記念撮影を行った。その後バスを連ねて謝恩会場である新高輪プリンスホテルへ向った。謝恩会会場では今回の卒業生のクラス会の名称を水道橋と千葉真砂にちなんで「水真会」とすることも発表された。



第 88 回 卒 業 生 氏 名

氏名	本籍	氏名	本籍	氏名	本籍	氏名	本籍
青木弘興	(東京都)	唐鎌正明	(千葉県)	田中誠	(東京都)	古沢正仁	(東京都)
青木美津子	(東京都)	川島章男	(群馬県)	加藤勝久	(東京都)	古戸充	(富山県)
秋谷理	(石川県)	北村新	(東京都)	田村知津子	(東京都)	古屋浩	(神奈川県)
麻薙浩子	(東京都)	橘田博純	(埼玉県)	千葉緑	(東京都)	不破金好	(愛知県)
池田光男	(福島県)	国原修	(広島県)	寺木守	(神奈川県)	別所和子	(千葉県)
石河健司	(愛知県)	木村兼朗	(石川県)	外木守雄	(静岡県)	星和江	(東京都)
石川伸一	(福島県)	久保木裕子	(茨城県)	鳥居一也	(静岡県)	細越隆夫	(東京都)
石川珠民	(三重県)	栗田文子	(東京都)	長井寿哉	(栃木県)	法花堂治	(石川県)
石河信高	(茨城県)	栗原山紀夫	(静岡県)	永井正志	(新潟県)	前川一彦	(沖縄県)
板谷賢二	(東京都)	安井一男	(東京都)	中川昇	(愛知県)	真下達哉	(群馬県)
井太家敏和	(東京都)	黒木祐二	(鹿児島県)	永木孝典	(香川県)	増田和子	(東京都)
伊藤雅之	(岐阜県)	黒沢純子	(東京都)	長塚友子	(千葉県)	松崎英雄	(茨城県)
稲垣博実	(愛知県)	古城哲哉	(神奈川県)	中西久和	(熊本県)	松崎理恵	(福島県)
井上雅明	(山口県)	小早川隆子	(広島県)	名倉俊之	(千葉県)	松本小織	(栃木県)
井上裕美子	(千葉県)	小林郁夫	(広島県)	樋本浩二	(岡山県)	間中章	(東京都)
今井潤子	(鳥取県)	小林慶太	(東京都)	成瀬由美子	(東京都)	真中美恵子	(茨城県)
植木重之	(新潟県)	小林敏彦	(滋賀県)	西垣篤正	(茨城県)	三浦瑞子	(岡山県)
上野修	(鹿児島県)	神山裕充	(北海道)	西口しげき	(三重県)	三森修	(栃木県)
宇佐美祐一	(新潟県)	小守伸治	(東京都)	西林滋	(群馬県)	宮下寿一	(東京都)
内田育宏	(群馬県)	紺野義之	(福島県)	野島春夫	(埼玉県)	宮島郁夫	(岡山県)
江河宏	(埼玉県)	佐草徳子	(島根県)	野平倍章	(千葉県)	宮山直也	(茨城県)
江里口論	(東京都)	佐々木真澄	(東京都)	橋本章	(北海道)	椋棒正樹	(京都府)
大木志朗	(山口県)	佐藤一夫	(岡山県)	橋本和則	(東京都)	村田敬子	(東京都)
大久保和幸	(東京都)	佐藤光太郎	(北海道)	波多野耕治	(愛知県)	森田一郎	(静岡県)
太田千枝子	(埼玉県)	佐藤隆	(宮城県)	浜田剛	(宮崎県)	矢崎篤	(山梨県)
大多和由美	(東京都)	佐藤治子	(東京都)	浜松孝典	(徳島県)	矢島正隆	(東京都)
関田京子	(東京都)	沢辺俊二	(神奈川県)	原茂	(群馬県)	矢島由加里	(東京都)
萩原俊美	(東京都)	斯波道夫	(静岡県)	原泰司	(愛知県)	柳川敏夫	(栃木県)
奥尚也	(岡山県)	清水二郎	(千葉県)	原裕司	(愛知県)	山口令	(北海道)
尾崎卓弘	(東京都)	高橋正志	(富山県)	原田康	(東京都)	山崎茂	(東京都)
小高千加子	(千葉県)	新谷益朗	(富山県)	兵頭いづみ	(愛媛県)	山中京治	(新潟県)
小田島亮	(青森県)	杉山精一	(東京都)	兵藤広一	(栃木県)	山之内一也	(神奈川県)
大塚勝仁	(東京都)	杉山哲也	(千葉県)	平川誓生	(鹿児島県)	吉田浩一	(千葉県)
大坪慶子	(山形県)	鈴木龍	(静岡県)	福岡博史	(東京都)	吉田礎久	(神奈川県)
織茂和彦	(神奈川県)	関川嘉昭	(新潟県)	福土孝裕	(青森県)	米沢弘明	(宮城県)
梶村悦朗	(富山県)	関口みゆき	(群馬県)	福島一則	(広島県)	米津博文	(徳島県)
桂啓介	(広島県)	関谷栄	(愛媛県)	福島常顕	(長野県)	劉鈞祥	(中国)
桂田哲哉	(山梨県)	芹沢直記	(東京都)	福本恵太	(東京都)	渡邊順	(山梨県)
加藤信一	(東京都)	副島涉	(佐賀県)	福本裕	(東京都)	渡部譲治	(愛媛県)
上條英之	(長野県)	高橋一弘	(山形県)	豊田修	(愛知県)	渡辺美紀	(福井県)
上山裕之	(東京都)	武井利夫	(長野県)	藤原一彦	(東京都)		
亀井達雄	(神奈川県)	武石純子	(北海道)	藤原理彦	(長野県)		

以上 166 名

支部のうごき

東京地域支部連合会

学術講演会のお知らせ

日時 昭和58年9月21日(水)

PM 6:30 (時間厳守)

場所 東京歯科大学水道橋校舎第4教室

演題 「接着ブリッジ Adhesion Bridge の理論と実際」

講師 岡山大学歯学部 山下敦教授

最近、歯科領域において、接着理論や接着材の研究が進み、歯質だけでなく、歯科用合金にも接着性を有するレジンが開発され、その臨床応用への関心が高まってきました。現在の段階では、まだ検討や改善を加えなければならない点も多いのですが、今回は、この方面の開拓者のお一人で、新分野に意欲的に取り組んでおられる岡山大学歯学部の山下敦教授にお話を伺うことにしました。

昨年と同様に、(1) 明日からの臨床に直結した

話を、(2) 開始時間の厳守、(3) なるべく早く会報等でお知らせし、少しでも多くの会員の御来場を願いたいとの趣旨にそって企画しました。

いろいろのテーマの中から、(1) 歯牙を殆んど削らないで出来るブリッジ、(2) 比較的術式をマスターしやすく、必要な器具、材料の購入も少なくてすむ。(3) この術式で失敗しても、歯牙を削って、従来の方式のブリッジに直せる等、臨床にすぐ応用出来るテーマとして、Adhesion Bridge 接着ブリッジを選びました。日本歯科評論や歯科展望(昭和57年4月号)等にも多数の研究発表が出ておりますので参考にして下さい。当日、多数の御来会をお待ちしております。

東京歯科大学同窓会東京地域支部連合会

会長 愛知 正晴

世田谷支部

世水会旅行記



世水会は11月13日、14日、と1泊2日で、岡本綺堂の頼家と面作師夜叉王の娘「かつら」との悲恋を描いた由緒ある修善寺温泉へと旅行して参りました。晩秋というのに小春日和と申しましょ

うか、ほんとに暖かな絶好の旅行日和に恵まれました。毎年秋に1泊で予定行事となっている世水会の旅行ですが、年々参加者が少なくなってきたということで大勢参加いただくにはどうしたら良いかと、考えた末、とにかく初心に戻って会員の先生方の親睦を主願として、夜一杯やりながら大いに語り騒ごうではないかということで、余り遠くなく誰もが気軽に行ける所を前世水会支部長であられた三島平八郎先生にお願いして、出身地であられる修善寺温泉を手配していただきました。

13日午後1時に世田谷歯科医師会館を総勢23名を乗せた貸切バスは出発致しました。途中東名高速道路で大変な渋滞に合い、どうなることかと思いきや、そこは幹事のはからいで車中カラオケ大

会となりました。買い込んでおきましたアルコールも程良いビッチで結構延着時間を有効に使うことが出来ました。(但しうるさくて仕方がないと思った人がいたかどうか？さだかではありません。) やっとの思いで到着した旅館が「あさば」というさすが地元の名門輩中の出身の三島先生だけあって、すばらしい旅館を紹介していただきました。

少々コマースの感がありますが「あさば」について説明させていただきますと、歴史が非常に古く、先祖浅羽弥九郎幸忠が遠州華厳院から修善寺開山の為に派遣された隆溪繁紹禅師を従えこの地にやってきて、西に遠磨山がそびえ美しい桂川の流れが彩る豊かな温泉郷に、弥九郎はこの時から浅羽姓を残すことになりその後浅羽安右衛門が温泉宿を起し以来9代(350年)を経て現在の「あさば」が存在しているとのことです。なお館内には東京深川富岡八幡より移した能舞台「月桂殿」がありまして修善寺能として4月、6月、9月、にそれぞれ2日ずつ、年3回行われるそうです。残念ながら我々は拝見することが出来ませんでしたがいづの日か必ず機会をみつけて……。又野天風呂があり、これが数ある修善寺の旅館の中で唯一のものらしく豊かなお湯がこんととわき出て、自然のままの石組が何とも印象に残っております。

夜の宴会におきましては交通渋滞のいたずらで到着時間が大変おくれた為に、予約していた芸妓さんがわずか30分で退席というハプニングもあり

ましたが、それでも会はかえって水入らずで大変盛大に行われ、楽しい語らいの一時を過ごすことが出来大盛況に終わりました。その後はさらに飲み語らう人、卓を開む人、ルンルン気分街に出ていった人、それぞれでした。

翌朝は8時に朝食を取りすぐ裏山にある頼家の墓を参拝し、型通り名所旧跡を一通り見学し帰路の途についたまでは良かったのですが、昼食に寄った所でバスに酔ってしまい真青な顔で途中下車し、電車に乗り換えたK先生。又途中で小休止の為に立寄ったおみやげ屋にH先生1人を置いたままバスは出発してしまいました。気が付いた時はすでに高速道路、さてどうしよう？でも前進するしか仕方ありません。とにかく次の料金所までフルスピードで走り、大急ぎで電話ボックスに駆け込み苦勞の甲斐あって当地に先生の存在を確認そのままUターン、全員の拍手喝采で合流出来たという世水会始まって以来のハプニングもありました。やむない用事で朝食後に電車で帰られた先生もおられました、全員、さしたる事故もなく、あくまでも会員の先生方の親睦が目的であるという初心を全うすることが出来、無事会館までどりつき解散致しました。 山本俊雄記

参加者写真後例左より石川、森谷、田中、三輪、伊藤、松田、野村、山崎、志邨、山本(真之)横田、堀、藤倉、大塚、山本(後)、安藤、橋本(支部長)、宮原、菊地、両角、鹿野、三島

×

×

×

クラス会だより

三 辰 会

昭和7年卒



小 梨 昌 氏 を 悼 む

(昭和57年12月6日逝去、行年76才。)

昭和3年春より級友として爾来55年親しくして貰った。毎年の三辰会旅行によく同行した。昨年5月の広島、山口方面の旅行で別れたのが最後であった。昨年の12月に氏への年賀状を書いていた時、三辰会からの通知で亡くなったのを知った。私は愕然、悲歎の想に涙した。彼との今迄のことが脳裡を駆けめぐった。奥さんからは私の悔状に対して丁重な書状を頂いた。5月末に彼の妹さんが急逝され、奥さんと葬儀に参列、帰ってから急に身体が弱ったそうである。妹さんの死が相当な打撃となったのだ。胸の疼痛と不整脈に弱っていた。肺に水が溜りレ線にも肺がよく写らなかったそうである。肺癌であった。奥さんだけに知らされ、本人は肺水腫だと信じていた。

12月に病状が悪化した。

彼の生地は宮城県仙台市で私と同郷である。家庭のことなどは詳しくない。

学生時代、同好の者達と文集を騰写版刷りで作ったことがある。彼の文は達者で面白く、書く範囲も広がった。明晰な頭脳の持ち主だった。昨年6月に貰った長文の手紙で戦前戦後の詳細が判った。敗戦後ソビエトの捕虜となったが医師なので重要視され大事にされたらしい。彼は、英語、中国語、ソビエト語、韓国語に通じていたのだった。

彼が昨年正月に呉れた年賀状にく恭賀新禧：根深葉繁>とあった。中国語の達者な彼らしい賀状であった。

謹んで小梨氏の霊の安らかならんことを祈ること切である。

面影を残して散りぬ 冬の花

—石英—

(石田英二記)

五 十 一 期 会

昭和20年9月卒

1) 学友鈴木栄樹君の急逝

無常の嵐が吹いた。鈴木君が去る1月15日午後1時15分頃自宅で心不全にて亡くなられた。一週間前に新年の挨拶をしただけに突然の訃報に信じられないまましばし驚愕茫然だった。17日通夜に在京幹事を代表して鶴岡、増田(英)君、春日君が弔問、18日葬儀がしめやかに行われ中村君が参列された。鈴木君は温行篤実な性格で余りめだたぬジミなタイプであったが学生時代クラスの班長をつとめ面倒味よく世話をされ信頼感に溢れた好人物であった。鈴木君は東京歯科大学同窓会新宿支部の副支部長、東京都新宿区歯科医師会保険委員会副委員長等をつとめていただけに光芒の如く他界されたのは残念である。幽明境を異にした今ご冥福を祈ると共に瑞生院法栄貞徳信士の霊に心から哀悼の意を表します。

2) 51期会有志のハワイ旅行記

待望の12月25日ホノルル空港に着く。一瞬別世界の視野レイとアロハの歓迎をうけバスで島内観

光後2時頃ホテル到着。夜はダバナの伝統的ポリネシアディナーショーと日本料理と舞妓で二次会。26日はワイキキ沖の夜景を望みつつハワイアンバンドのムードでフラダンスショーに興じて食事、高石君が飛入り出演し多くの観客席を沸きあがらせ万雷の喝采、27日早朝ハワイ島巡航、もう一つのハワイをみた。28日ゴルフ組4名がマカハカントリーでプレー。夜カハラヒルトンのダニカレキニーハワイアンショーをみて海辺を散歩する。還暦近い同伴組各自の胸に何が去来したことだろう?29日最終日は皆土産品を買ったり海岸で名残りの甲羅干しと井上君の余興やカラオケが続く。最後に校歌を絶唱して終了。31日午後5時無事成田に到着、皆真黒にハワイ焼していた。健康で幸せな新年を祈り解散。参加20名：井上、遠藤、片山、桜井、高石、中村、橋本、波多野、森。終始お世話になった桜井君に感謝する。なお橋本幹事の芳情に深謝します。(鶴岡 記)

千 秋 会

昭和27年卒

昨年暮の本誌(210号)に記載した通り本年の千秋会総会は北海道で行うことになりました。

札幌在住のクラスメートが集まり、その日程を検討した結果の連絡がありましたのでお知らせします。尚、北海道地区の千秋会幹事役がこれまでの丸山君から巢山君になりました。巢山君を中心に、今回の北海道旅行の準備をしてもらう手管になっています。巢山君にはご苦勞でもよろしくお願いたします。

日時 昭和58年10月8日(土)

9日(日)

10日(祭)(2泊3日)

総会及び懇親会

10月8日 定山溪グランドホテル

9日 京王プラザホテル

観 光 定山溪一積丹半島めぐり

札幌市内観光

ゴルフ 北海道カントリークラブ

札幌広島コース

参加費 1名 50,000円

(但しゴルフ市内観光等は含まず)

航空券の手配等は日本交通公社札幌支社で扱います。

以上の通りです。昨年の熱海での村上嘉章先生をお招きしての総会には60数名の参加がありました。ご家族又は奥様同道の参加も大歓迎です。多数のご出席をお願いします。

次号をお見逃しなく

(三浦 記)

一期会

昭和28年卒

東京歯科大学卒業30周年記念誌作成のため去る3月8日に第1回編集委員会を開き、その概要について検討しました。その結果、市川の子科入学以来の思い出の写真を集め、また卒業後は、総会、記念会を年度順に掲載することになりましたので、よい資料がありましたら拝借したいと思います

す。なにとぞご協力をお願いします。

学友、佐々木佳夫君には、昨年より入院、自宅療養、再入院と闘病生活を続けられておりましたが、薬石効なく3月10日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。(津島 記)

八紫会

昭和35年卒

桜の季節も過ぎ、心痛む入試関連も一段落した今日此の頃、八紫会々員子弟も今年また約10人が母校入学を果しました。父兄会では学3を頭に大勢のクラスメートの子弟の名前にぎわうようになりました。

週から始まるFDIに参加される方には便利ではないかと存じます。

ただし大変申付けありませんが、宿泊についてはFDIがおさえているので、本会での幹旋便宜は、計かれませんので御宿泊の方は四谷赤坂方面のホテルを取られると宜敷いかと存じます。

さて、今年度の八紫会総会は、昨年のお約束の通り、FDI東京大会に時期を合わせて11月12日(土)午後6時から、紀尾井町(赤坂見附側)のホテル・ニューオータニに会場を設営致すことになりました。ホテル・ニューオータニはFDI指定のホテルになっておりますので、次の

過日往復ハガキにて出欠のご返事方お願い致しましたが、ご返事お出しでない方は早速菊池会長までご一報下さいますようお願い致します。

(桜井 記)

十期会

昭和37年卒

第11回十期会総会・懇親会ご案内

時は春。恒例十期会総会のご案内を申し上げます。落成なった千葉の新校舎をバスで訪れ、その後横浜において総会・懇親会を開催します。

き熱い情熱の中にひたっていたきたいと思います。

記

日時 昭和58年5月21日(土)

集合場所 東京歯科大学水道橋病院前
(10:30AM)バスは11:00に出発し
千葉校舎で見学後横浜へ向います。

総会 横浜“ナイト・ブラザ”

(16:00PM:受付)

宿泊 横浜“ホリデー・イン・ヨコハマ”
多数のご参加をお待ちしております。

(松本 記)

われわれが専門課程1・2年時学年副主任としてお世話いただいた大内英男(東京歯科大学非常勤講師・千葉県開業)および恩田千爾(松本歯科大学教授)両先生をお招きし、いまだエキゾチックな風情を残す港ヨコハマで懐しい一夜を過ごしたいと思います。宿泊はホリデー・イン・ヨコハマに用意してございます。夜のふけるまで充分ヨコハマ・ムードをお楽しみいただき、かつての若

臨床生活六十四年

橋 本 礎 一

大正4年6月田舎の歯科医の家に書生として住込んだのが歯科界への始まり。1年で大阪に出て東京歯科出身の先生のもとに転勤した。大正7年秋の国家試験に合格して一人前の歯科医になり1年8カ月無資格医のところへ勤め、自分で独立開業したのが大正9年10月であった。性来手先の鈍い方なので1日の患者数は20人位が精一杯であった。今から25年位前東京医科歯科大学の石原教室で卒後5年研鑽した伴が帰ってくれたので次第に患者も増えて来た。64年の臨床で無縫冠は全然使った事がない。義歯は例外を除けば陶歯ばかりでやってきた。ところで昨年11月頃老人夫婦の総義歯の患者が来た。婆さんの方は私が20余年前に作ったのが緩くなったので新しくして欲しいという希望であり私は自分で作った古い義歯を懐しみながら新しく作った。主人の方は上下顎共全部レジン歯で作られていた。排列はかなり出来ていたが上顎の臼歯は口蓋側が、下顎は頬側が共に極度に磨滅しておりこれでよく使えたものだと思だったのである。下顎床の裏には綿花が全顎に亘って挟んであった。もしこれが陶歯であったら数日にして上顎床は正中線から破床したであろうと思った事である。精々特に臼歯は陶歯を使って欲しいものである。たまに投書するのに憎まれ口を云う様

だが、老人になっても歯科界を愛する熱情は人後に落ちないつもりである。尚この義歯の場合強いて言えば上下顎とも顎堤より内側に排列されていたと思う。それで上顎床の破床をまぬかれたとも思えるのだが、一方ではそれだけ力が入らなかったとも考察出来るのである。排列は顎堤の頂点を中心に線を引いてそれを基準にすべきで内側に寄せすぎると舌の運動が窮屈になる嫌いがある様に思う。ともあれこの老人の忍耐力には口にはしなかったが頭の下がる思いがした。レジン歯を使う人がそう沢山おられるとは思ってもいないが、たとえ少数の人にしても考えて貰いたいと望む次第である。蛇足になる様だが私はここ2・3年以来前歯のみでなく臼歯まで全部排列したものをもう一度試適する事にしている。勿論これは総義歯又はそれに準ずる少数の残存歯のある場合も含めた意味である。結局印象採得を併せて4回来院させることになる。それが結局に於て咬合に狂いがなく咬合面の削合が容易であり装着時の時間も少なくなくて済む。私は15号コロンダム(カーボランダム)の磨滅しつくした様な大きさ南天の実の1/4位になったものを特別大切にしている。咬合面の平面化を避けるゆえんである。

随 想

堤 敏 郎（昭和15年卒）

—再び医政懇話会復活を提唱—

先日、愛知正晴君（同期）の東京支部連合会長就任を機に、彼を励ます会に出席した私は、医政に関する同窓会幹部に一寸苦言を呈したく、ペンを取ります。

政治は現実のもので、その失敗はただ謝ったり釈明だけでは済まされない。必ずその修正が具体化される必要があると思う。

昨春の河邊会長の日歯選挙に対する釈明はあれで充分だが、あれから1年、棚ざらしになった同窓にも気の毒だが、もうそろそろ対策が出てよいと私は期待しています。

東京歯科医師会長選を直前に控えた、前述励ます会でしたが、時節柄の医政関係の発言もなく、私としては全く物足りない気持で一杯でした。席上、司会から「独断と偏見の歯科ペンクラブ堤先生から一言」と紹介され、渋々マイク登場と相成って、思わず知らず「近頃は百円ライターを持って得々としている輩が多い」と禪問答ならぬ暴言？を述べました。

30年間、地廻り（矯正往診）していると各地の同窓の意見をスキンシップで知ると同時に、歯科ペン運動でこれまた30年近く、日歯役員選の裏表の機微にも触れている。いわゆる岡目八目で比較的冷静な客観的観察をもってると自負していますが、ここ10年位の日歯役員選とくに副会長選に対する東歯の混乱振りには、大いに反省の必要があると思います。

丁度20年位前、河村会長の許に、私は理事を辞任して、歯科ペンクラブ運動に熱中したのですが、その時置土産に提唱した医政懇談会が発足誕生しました。この会は一部有力者の独走で左右された弊害のため消滅して現在に至っています。私が再提唱する医政懇談会は、前者の轍を踏むことなく再組織して頂きたい。

構成は、医政に関係している現役に加えて退役の同窓と医政に関心をもつ若い同窓が主体となっ

て、これに同窓会幹部からの参加を得たものであって欲しい。同窓会とは唇齒補車の関係を保ち、十分な情報交換の場をもち一部の言動に左右されない民主的な意見交換が行われること。更に、後継人材の養成の場を作って欲しい。最後のこの一件は従来東歯同窓会の大きな盲点であったと思いますので特に留意頂きたい。

日頃、歯科ペン運動で、全国的に他校出身の同業者各位から、さまざまな形の意見を聴く機会が多く、とくに水道橋に対する意見は身に沁みるものがあります。水道橋は老大国化してはなりません。地下の血脇先生から何だか叱られているような気がしてなりません。

先日、武見太郎先生のお宅で対談しました折、はからずも恩師斎藤久先生についての武見さんの旧懐談を伺って、うれしくもあり、大いに反省させられた次第です。

老妾心の余り、駄弁を弄しましたが微意を諒とせられんことを。

「愛知君、お前はお前なりに何時も地金で外柔内剛で頑張ってくれ、例え独断と偏見と云われようとも」

—若い同窓の方へお願い—

私の本職は矯正家で、私は15年奉職した母校矯正学教室を辞して「臨床矯正」普及のため約30年日本各地を往診し、現在も数多い臨床家とタイアップしています。その体験からして、各出身校のスクールカラーをスキンシップで得ています。これは建学の精神から発生したものでしょう。

他校出身者の長者は大いに他山の石として見做りたいが、とかく自分の欠点には甘い点数になり勝です。私立校は、何ととっても建学の精神が同窓間に生きていなければなりません。そこで、血脇イズムを、再検討を若い同窓にお願いしたいのです。それが東歯同窓の自己強化の最良法と信じます。

第9回 全国同窓囲碁大会開催さる

恒例の新春囲碁大会は去る1月15日、成人の日
に市ヶ谷の日本棋院大広間で行われ文字通り全国
各地の諸先生方が参加され36人の大世帯であつ
た。今回は、加藤正夫王座、佐藤昌晴八段の超一
流棋士による指導碁があつて、大会はすばらしい
内容でした。特に、大会終了後、両棋士を囲んで
宴会が行われ、リラックスしたお2人に皆さん大
満足でした。紙面の関係で写真がのせられないの
が残念です。

来年、また楽しい熱戦を期待し散会しましたが、
来年は、10回の記念大会として、さらに超豪華企
画でのぞみます。碁の棋力に関係なくふるってご
参加下さい(連絡は水道橋病院高橋まで)。

出席者氏名 (順不同) ()内は卒業年次

岡本 種義(大正14)	岡 秀哉(昭14)
富取 敏光(昭14)	二階堂則彦(昭22)
久保田正義(昭22)	白川 尚(昭24)
武石 義弘(昭26)	田辺 明(昭26)
吉田 浩(昭28)	高添 一郎(昭29)
高津 正直(昭29)	中沢 典三(昭29)
高橋 一祐(昭32)	中村 英雄(昭32)
河村 孝昭(昭33)	前田洋一郎(昭37)

橋本 岩男(昭39)	山崎 晃(昭39)
村岡 捷也(昭39)	竹内 忠彦(昭39)
安達 登(昭42)	大橋 勲(昭43)
池原 洸(昭45)	難波 克明(昭47)
柳原 正義(昭47)	河村 考憲(昭47)
黒田 勇一(昭53)	平野 和夫(昭53)
福島 史郎(昭53)	原島 晃(昭53)
大須賀 豊(昭53)	露口 晃宏(昭53)
高橋 哲史(昭55)	福島 大平(昭57)
斎藤 英志(昭57)	岡田 泰幸(昭56)

A級リーグ優勝 河村孝昭
準優勝 池原 洸、難波克明、河村
孝憲

B級リーグ優勝 富取敏光、高津正道
準優勝 前田洋一郎、福島史郎、
福島大平

なお、昨年第8回の掲載を忘れ申し分けござい
ませんでした。遅ればせながら写真だけ掲載いた
します。

昨年は、佐藤昌晴、小川誠子両棋士の指導碁で
した。(高橋 記)



第 8 回



第 9 回

友よ 逝く（親友佐々木佳夫君に捧げる）

58年3月12日

あんなに優しく、心配りの細やかな、お前だったのに、この世から逝ってしまった。何か、心の隅に黒い穴があき、空しさばかりが、先に立つ。

釣が好きで、休みを作っては、銀山平や藤原湖へ、「いわな」をとりに行っていた。話は、たとえ、自慢話でも、お前の口からは、もう聞くことは、出来ない。

学生時代から、外車に乗ったり、変わった奴だったし、遊ぶのも色々のエピソードを残し、泣いた女の数も多い奴だったが、その繊細な神経は、相手が傷つくと共に、自分も何倍も大きく傷つき、生活そのものも、その線からはずれていなくて、

普通の人間には、真似の出来ないある一面を、持ち合わせていた。

一緒に山に登り、酒を飲み、良く飲んだ新橋の「ジョンベック」の思い出が、昨日の様に浮んで来る。

虫の知らせか、3月1日に見舞に行った時は、点滴をしながらいつもと同じ様に話をし、うまそうに煙草を吸い、握手をして別れたが、それが本当の「さよなら」になってしまった。

心やすけく 永遠とわの眼りにつき給え。

中村泰之

◆投稿規定

(1) 原稿締切

原稿の締切りは奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。

なお、会報専用の原稿用紙(22×10字行)がありますので、ご一報下されば送付いたします。

(3) 投稿字数

① 随想、詩、短歌、時評などは1編1,500字以内。

② 支部のうごきは、800～1,000字。

③ クラス会便りは、700～800字。

④ よろず告知板は、200字以内。

⑤ 写真は一葉200字に換算して下さい。

⑥ 折角ご投稿いただいても、規定字数を超えた場合は、掲載いたしかねますのであらかじめご諒承下さい。

(4) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません、特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下さればご返送いたします。

◆へんしゅうこうき

新しい名簿の編集に着手したので是非ご協力を願いたい。正確なことが名簿の使命です。巻頭の個人調査はがきのみが基礎資料となるのでご記入の上ご返送下さい。

さて、母校の後輩達は国家試験も終わったと聞くが、本年も好成绩だといいと心から願っている。

松宮先生名誉学長に推されるの記事を見て驚かれた方も多いと思う。後進に道をゆづるため、任期を残しての辞任であるが、お体の方は大丈夫と聞き安心したものの、一沫の寂寥を禁じ得ない。一生を歯科医学の研究発展につくされ、学長として、世界に冠たる千葉校舎の完成にも尽力され東京歯科大学に貢献された功績は不滅のものがある。先生の御多幸を心より祈るしだいである。

近頃、血脇イズムとか水道橋精神と聞かされても、ピンとこない学生や先生方が多くなっていることは否めないであろう。今、同窓会本部では会則等検討員委員会に諮問して、血脇記念基金の有効利用についても検討している。この際、学生教育の上からも血脇賞復活等を含めて考え、後世に永くその遺徳を偲び水道橋精神伝承の糧としたらどうだろうか。唯、東歯魂をはき違えて解釈されることをおそれるものである。

「世の中は五分の真味に二分俠気

あとの三分は茶目でくらせよ。」

我が家の血脇先生書より(昭和8年5月)

(伊藤 哲)

広報担当理事：梅田昭夫、溝上隆男、松川健二、伊藤 哲、仲谷純三、平 佐武郎、馬嶋 博、野上順平
 広報部会報編集委員会 委員長 櫻井善忠、副委員長 薬師寺 仁、
 委員 中久喜 喬、中村泰之、山本啓介、古川 正、松井恭平、林 量一

昭和58年4月15日 印刷

編集・発行人 梅 田 昭 夫

昭和58年4月20日 発行

東 京 歯 科 大 学 同 窓 会

東京歯科大学同窓会会報 第212号

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話(03)262-3421(内線226)

(03)264-4859(直通)

印刷所

一 世 印 刷 株 式 会 社

東京都新宿区下落合2-6-22

電話(03)952-5651(代)

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。



由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。



都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。

ご予約は、会員専用の予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855 品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、各種のサービスがございます。

サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

 **高輪プリンスホテル**
東京都港区高輪3-13-1 ☎108 TEL.(03)447-1111

 **品川プリンスホテル**
東京都港区高輪4-10-30 ☎108 TEL.(03)440-1111

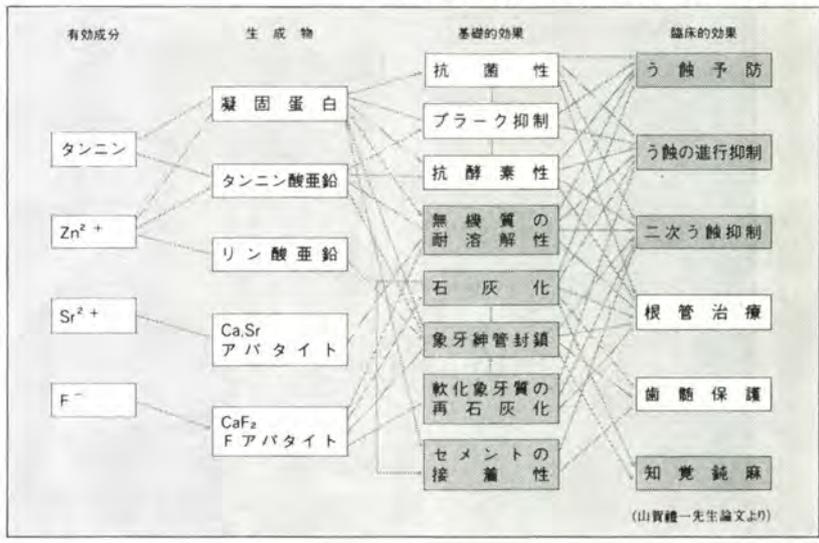
セメントにHY材がなぜ必要なのでしょう？

HY材開発者の、大阪大学名誉教授

山賀禮一先生の論文によりますと……

HY材(タンニン・フッ化物合材)は、歯質の成分と結合して、細菌による侵襲から蛋白質を保護します。さらに、リン酸カルシウムを強化して耐溶解性を向上させ、石灰化を促進するという働きも持っています。同時に、象牙細管を封鎖して、外来刺激を遮断するものであります。

HY材の基礎的効果と予想される臨床的効果



「歯質への新しい効果が期待できる」

と、いわれるHY材だからこそ松風は意欲的にセメントに配合してHY-BONDシリーズを誕生させました。

歯の健康を守るセメント

HY-BONDシリーズ

ハイ・ボンド シングセメント

ハイ・ボンド カルボセメント

ハイ・ボンド クラスアイオノマーC

ハイ・ボンド クラスアイオノマーF



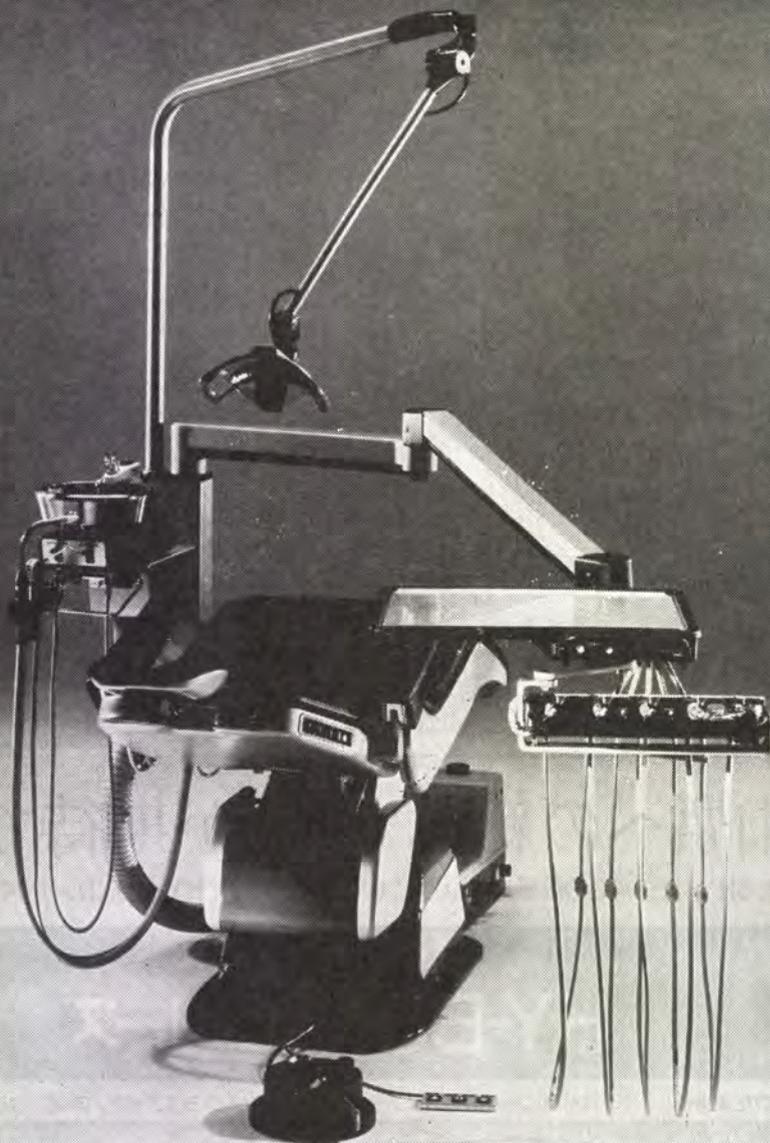
- 用途
●インレー、クラウン、ブリッジの合着
- 物性
破砕抗力 ▶ 1,450 24+16(kg/cm²)
被膜厚さ ▶ 22μ
崩壊率 ▶ 0.05%

- 用途
●インレー、クラウン、ブリッジの合着
●窩洞の裏装 ●マルチバンドの固定
●歯頸部知覚過敏症の処置
●乳歯う蝕の暫間処置
- 物性
接着強さ ▶ 49kg/cm² (象牙質と金属とのつき合せ稼働)
被膜厚さ ▶ 17μ
崩壊率 ▶ 0.03%

- 用途
●インレー、クラウン、ブリッジの合着
●窩洞の裏装 ●マルチバンドの固定
●支台築造 ●乳歯充填
- 物性
破砕抗力 ▶ 2,000 24+16(kg/cm²)
接着強さ ▶ 24kg/cm² (象牙質と金属とのつき合せ稼働)
崩壊率 ▶ 0.30%
被膜厚さ ▶ 25μ

- 用途
●5級、3級窩洞の充填 ●支台築造
●窩洞の裏装 ●乳歯充填
- 物性
破砕抗力 ▶ 2,300 24+16(kg/cm²)
接着強さ ▶ 23.9kg/cm² (象牙質と金属とのつき合せ稼働)
崩壊率 ▶ 0.31%

「エレクトロニクス」技術を集結した世界唯一の
 チェアマウントシステムのデンタルユニット



スマイリー-GM800 SERIES

スマイリー-GM8100
 ¥2,986,000

新製品

ハイテクニクを追求しつづける
 オサダが、最新のエレクトロニクス
 技術をデンタルユニットに取り入れ、
 先生の診療を快適で高効率、メンテ
 ナンスの楽な簡潔化を計ったユニッ
 トに完成させました。

IC回路の採用により、例えばワー
 クテーブルがぐつと薄くなり、先生
 方の胸上配置を可能にしました。又、
 ユニットの生命であるインスツルメ
 ントは全てオートクレーブ可能とな
 りFPシステム（先取り優先）採用に
 より、先生方がご使用中でも、他の
 パーの交換を流れて沿って助手が交
 換できるシステム等……技術に生き
 るオサダが、エレクトロニクスを診
 療機器に集結させ、先生方のご要望
 に応え、ここに登場しました。

※全国オサダショールームにてお手にと
 ってお試し下さい。



長田電機工業株式会社
オサダの技術は世界に通用
 〒460 長田区西五反田5-1-5 電話 053-462-7651

(KIK姉妹品)

歯科用金属焼付ポーセレン用メタル ケイ・アイ・ケイ ハード

KIK HARD II

DENTAL USE

重量10グラム

ISHIFUKU METAL INDUSTRY CO.,LTD.

金属焼付ポーセレン用金合金

KIK HARD II

- 硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- 流動性が優れており容易に鋳造できます。
- 焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分 金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質 ● 溶融温度1240~1290℃ ● 比重17.8 ● 鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さ kg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレース時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

歯内療法が楽しくできる!!

糊剤根管充填材

ヨードホルム・水酸化カルシウムパスタ

ビタペックス®

[適応症]

抜髄および感染根管治療後の根管充填に適用します。

[特長]

- ・特殊な方法でパスタ状に調整されていますので操作性に優れ、専用のシリンジで狭小な根管にも緻密に充填できます。
- ・エックス線造影性に優れ、長期にわたり変質しません。
- ・根尖歯周組織の治療に対して好影響を与えます。



本格的な根管充填用シーラー

エンドドンティック セメント

デンタリス® KEZ

ケー イー セット

デンタリス KEZ は根管充填専用のシーラーとして開発された遅硬化のエンドドンティックセメントで、当社の新製品として登場いたしました。

特長

- ・根管壁およびガッタパーチャポイントに対するヌレが良く、根管腔を緊密に閉鎖します。
- ・練和後5~7分で硬化しエックス線造影性を示します。
- ・pHをアルカリ性に調整し、炎症巣の鎮静化をはかったセメントです。
- ・ガッタパーチャポイントなどのシーラーとして適切です。
- ・ビタペックスとの同時積層根管充填に際しては、硬化するセメントタイプの**デンタリス KEZ**をお奨め致します。



AXIS 90

DENTAL CHAIR

世界ではじめてパワー(油圧電動)ヘッドレストを実現。

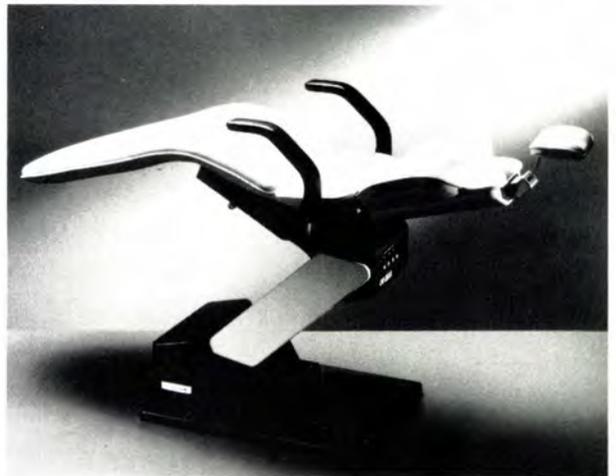


スイッチひとつで、ヘッドレストが動きます。

ルチェアの命といわれるヘッドレストが、スイッチひとつでできる“電動”になりました。

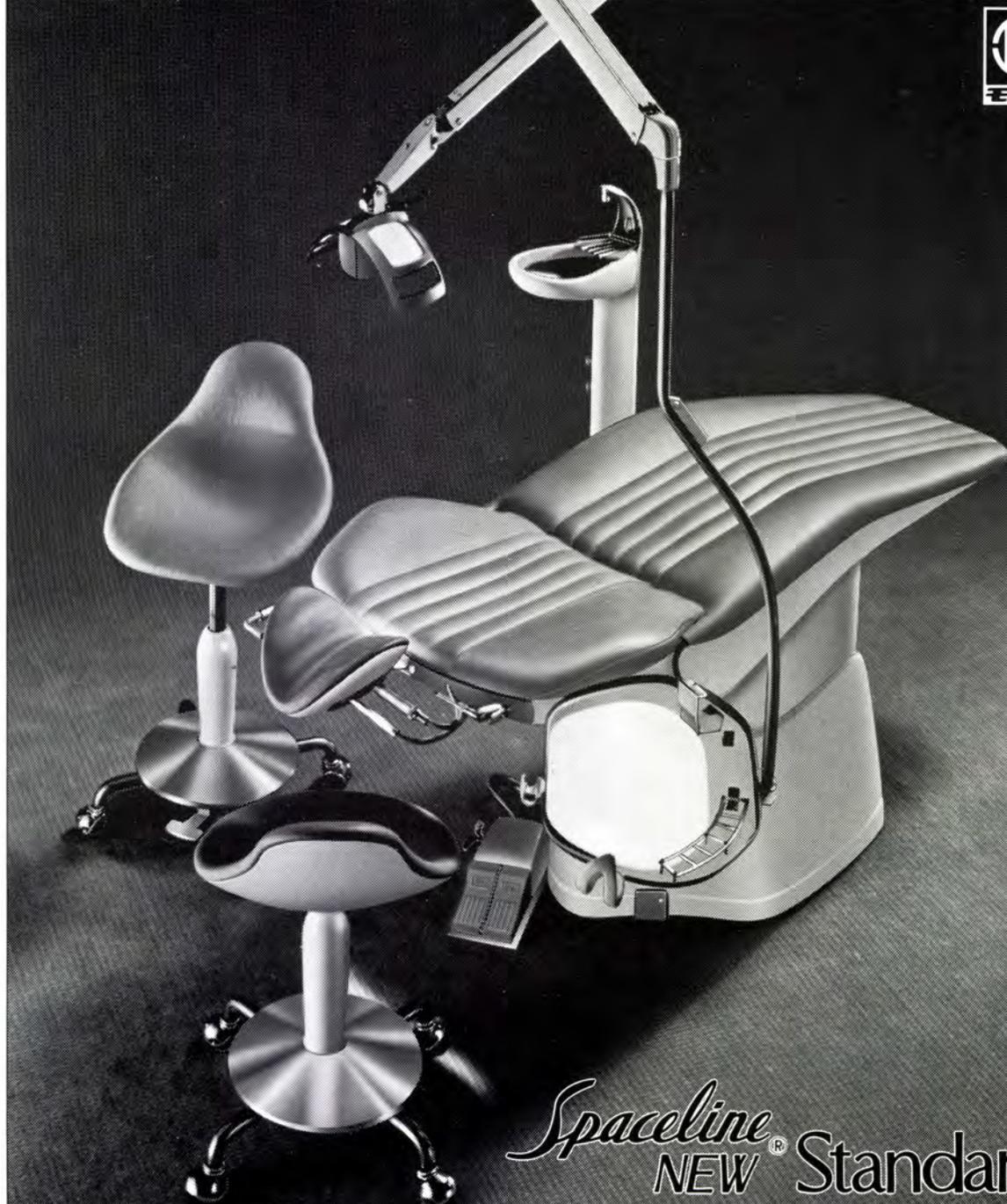
はらかな姿勢で口を大きく開けられるようになり、さらには自然な姿勢で、より広い口腔内視野が得られるように、アクシス“パワーヘッドレスト”電動油圧技術とIC技術で開発した、90年代志向の新しいデンタルチェアです。

仕様
/ 420mm ● ストローク / 380mm ● チルト / リクライニング運動チルト
プリセット / 2ポジションメモリー方式 ● オプション / フートスイッチ
(※ 覆起) ※ 標準価格 980,000円



タカラベルモント

本社 ● 大阪市南区島之内2-13-22 ☎(06)211-2831・大代表
支社 ● 東京都港区赤坂7-1-19 ☎(03)403-0311・大代表



Spaceline[®] NEW Standard

診療効率を高める究極の機能——ニュー スタダード

診療の効率化が叫ばれているいまこそ、水平位診療の原点を極めたスペースラインが真価を発揮します。ニュースタダードは、最新の電子技術で内部のメカニズムをグレードアップ。さらに、バキュームフィルターがハウジングの外側についてメンテナンスが楽になりました。

標準インストルメント	ニュースタンダード	ニュー
エアベアリングハンドピースアストロン(AT-C)	● ○	● ●
アストロンホース回路	●	● ●
マイクロモーターハンドピーストルックス(TR-2N)	●	●
スリーウェイシリンジ	● ●	● ●
バキュームシリンジ	●	●
サライバエジェクター(シャットオフバルブ付)		●

○は予備ハンドピースを表
(外観および仕様などは改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください)

21世紀のデンタルライフをひらく 株式会社 **モリタ** 東京都台東区上野2丁目11番13号 〒110 ☎(03)834-6111

株式会社 **モリタ** 製作所 本社工場・京都市伏見区東浜南町680番地 〒612 ☎(075)611-2141 久御山工場・京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613 ☎(0774)43-1111
株式会社 **モリタ** 東京製作所 埼玉県与野市上落合355 〒338 ☎(0488)52-1315

より良い補綴の「決め手」として積極的にご利用ください。

GC

GCの検査材



咬合接触検査を手軽に、的確に行える
ユニークなブラックシリコン検査材です。

咬合接触検査材

バイトチェッカー《ブラックシリコン》

用途 ●クラウン・ブリッジの口腔内での咬合接触状態検査 / 有床義歯製作各ステップでのチェック / 歯周疾患における早期接触の発見 / 矯正における動的治療の経過観察 / その他

練和し、下顎歯列咬合面に盛り、咬合させたバイトチェッカー ● 模型上、またはシャーカステン上で観察すると、接触部分が白く透け、咬合接触の位置と程度が一目瞭然です。



クラウンの内面や床粘膜面の「適合状態」は
ホワイトシリコンでチェックします。

適合検査材

フィットチェッカー

用途 ●クラウン・ブリッジの内面と支台との適合状態の検査 / 義歯と粘膜の「アタリ」の部位とその程度の検査 / 鑄造ポストと根管壁との適合検査 / その他

練和したフィットチェッカーを内面に盛り、
式適・咬合させたブリッジ ● 「アタリ」の
部分だけフィットチェッカーが薄くなり、金
属色が透けるため、一目で判定できます。



隣接歯間の接触関係を
客観的に検査するためのゲージです。

接触点診査用

コンタクトゲージ

用途 ●クラウン・ブリッジと隣接歯間の接触関係の検査



試適された金属冠と隣接歯の間にコン
タクトゲージを挿入 ● 厚さの異なる3種の
ゲージ (緑色 50μ、黄色 110μ、オレンジ
色 150μ) を順次挿入してみることに
より、接触関係の良否が判定できます。

GC DICデンタルインフォメーションセンター

北海道DIC011 (271) 7373代 ● 東北DIC022 (71) 8757代 ● 東京DIC03 (816) 6480 (直) ● 名古屋DIC052 (703) 3231代
大阪DIC06 (771) 4682代 ● 広島DIC082 (255) 1771代 ● 九州DIC092 (441) 1286代
新潟出張所0252 (84) 6622 ● 徳島出張所0886 (25) 8244 ● 長崎出張所0958 (47) 6104 ● 鹿児島出張所0992 (68) 0070



而至歯科工業株式会社

歯科技工学科

理事長 歯学博士 大塚 昌助

校長 歯学博士 大塚 弘介



東京歯科技工専門学校

TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒141 東京都品川区西五反田 5-1-10 (東急目蒲線不動前徒歩 2 分) TEL 03 (492) 4221 (代)

Shiken Blue Sky Series



パラジウム29%を含有した
銀パラジウム合金の高級決定版

新 発 売

金を含有しない銀パラジウム合金
においてはパラジウムの含有量30%
以上が理想的と言われていました。
本品は29%のパラジウム含有であ
りながら金銀パラジウム合金に匹
敵する機械的性質及び耐変色性を
実現しました。



用途 インレー・冠・MODアンレー・
冠・フルクラウン・ブリッジ・クラ
スプ用。

優れた耐変色性
高度な機械的性質
経済性

歯科鑄造用銀パラジウム合金

パラエース



日本歯研工業株式会社

本社 〒141 東京都品川区西五反田 5-1-10 ☎03(492)0921 (代)
支社 〒553 大阪府福島区南船場 5-6-6 ☎06(458)7071 (代)
支社 〒107 東京都千代田区有明 2-10-6
大塚事務所 ☎03(83)3031-1033